

第2章 調査の結果

1. 公園利用状況調査

(1) 公園全体での利用者数（現地調査）

1) 休日・平日別利用者数

休日・平日別利用者数は、休日が2,628人、平日が5,370人となっている。また、前回調査の利用者数と比較すると、休日が13.9%増加し、平日が0.8%減少している。

表 2-1-1 休日・平日別用者数（全公園合計）

	平成26年度（前回）	令和6年度（今回）	増減率%
休日	6,268人	7,140人	13.9%
平日	5,370人	5,325人	▲0.8%

2) 年齢別利用者数

①令和6年度の傾向

- ・「幼児」は、「休日」が1,265人、「平日」が1,583人と「平日」が318人多くなっている。
- ・「小学生」は、「休日」が1,502人、「平日」が702人と「休日」の方が800人多くなっている。
- ・「中高生」は、「休日」、「平日」とともに最も利用者が少なく、「休日」が233人、「平日」が261人と「平日」が28人多くなっている。
- ・「成人」は、「休日」、「平日」とともに利用者数が最も多く、「休日」が3,614人、「平日」が2,259人で、「休日」が1,355人多くなっている。
- ・「60歳以上」は、「休日」が526人、「平日」が520人で、休日が6人多いのみで、平日と休日の差が少なくなっている。

表 2-1-2 令和6年度 年齢別利用者数（上段・人／下段・割合(%)）

	幼児	小学生	中高生	成人	高齢者
休日	1,265	1,502	233	3,614	526
	17.7	21.0	3.3	50.6	7.4
平日	1,583	702	261	2,259	520
	29.7	13.2	4.9	42.4	9.8

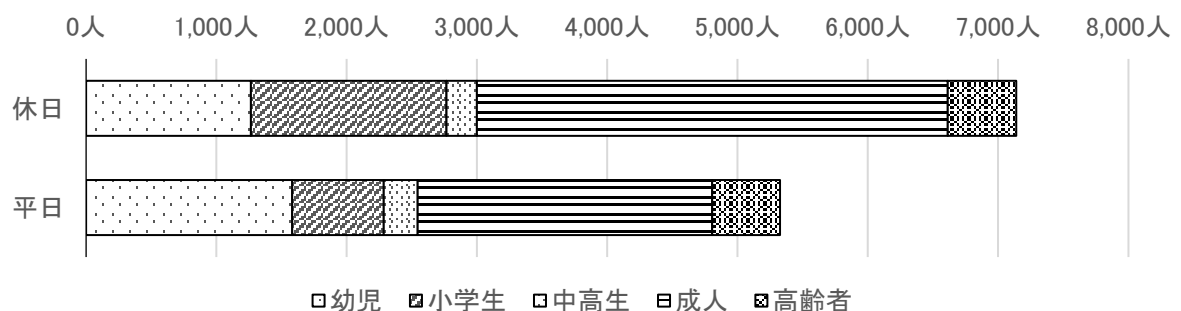


図 2-1-1 令和6年度 年齢別利用者数

②前回調査との比較

前回調査と比較すると、いずれの年齢グループ別でも大きな違いは見られない。「休日」「平日」とも「小学生」が増加し、「高齢者」が減少している。平日の小学生の増加は5ポイント近くとやや大きくなっている。

表 2-1-3 年齢別利用者数比較【休日】（上段・人／下段・割合（%））

	幼児	小学生	中高生	成人	高齢者	合計
令和 6 年度	1,265	1,502	233	3,614	526	7,140
	17.7	21.0	3.3	50.6	7.4	100.0
平成 26 年度	1,150	1,173	266	3,118	561	6,268
	18.3	18.7	4.2	49.7	9.0	100.0

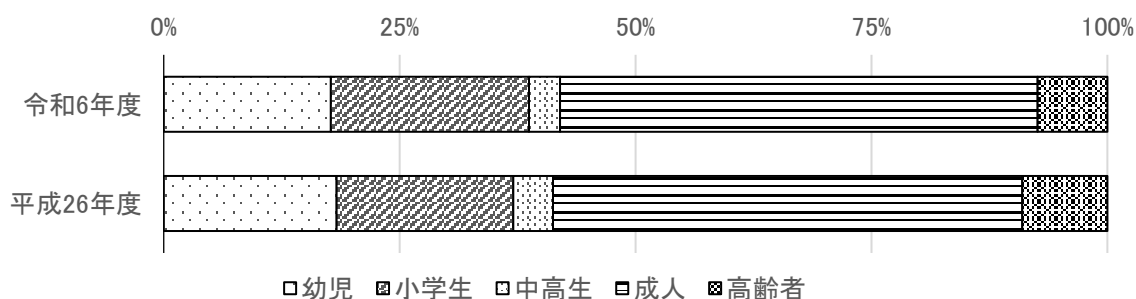


図 2-1-2 年齢別利用者数比較【休日】

表 2-1-4 年齢別利用者数比較【平日】（上段・人／下段・割合（%））

	幼児	小学生	中高生	成人	高齢者	合計
令和 6 年度	1,583	702	261	2,259	520	5,325
	29.7	13.2	4.9	42.4	9.8	100.0
平成 26 年度	1,703	464	162	2,426	615	5,370
	31.7	8.6	3.0	45.2	11.5	100.0

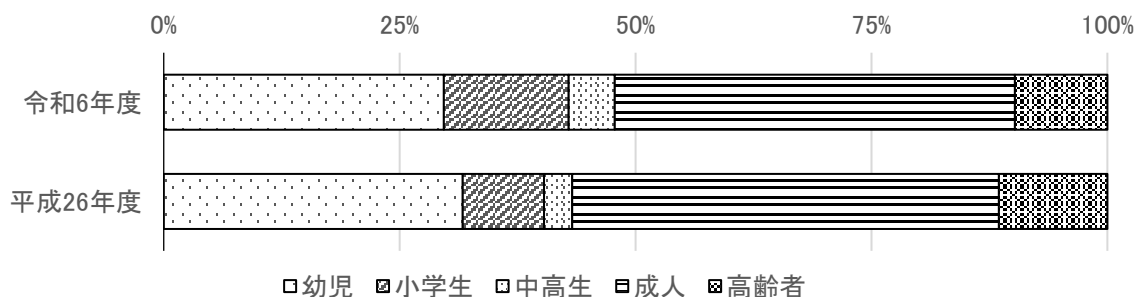


図 2-1-3 年齢別利用者数比較【平日】

3) 利用内容別利用者数

①令和6年度の傾向

「休日」・「平日」とも「遊び」が最も高く、次いで「遊具」、「休息・散歩」と続いている。「休日」が「平日」より利用内容が高いものは「軽い運動」、「平日」が「休日」より利用割合が高いのは「通過・徒歩」等となっている。

表 2-1-5 令和6年度 利用内容別利用者数（上段・人／下段・割合(%)）

	遊具	休息・散歩	遊び	軽い運動	犬散歩・リード付き	犬散歩・リードなし	通過・徒歩	通過・自転車乗	通過・自転車歩	食事	トイレ	その他
休日	1,516	1,345	1,600	406	210	19	461	44	17	82	51	1,389
	21.2	18.8	22.4	5.7	2.9	0.3	6.5	0.6	0.2	1.1	0.7	19.5
平日	1,065	927	1,380	91	153	8	1,016	145	13	25	82	420
	20.0	17.4	25.9	1.7	2.9	0.2	19.1	2.7	0.2	0.5	1.5	7.9

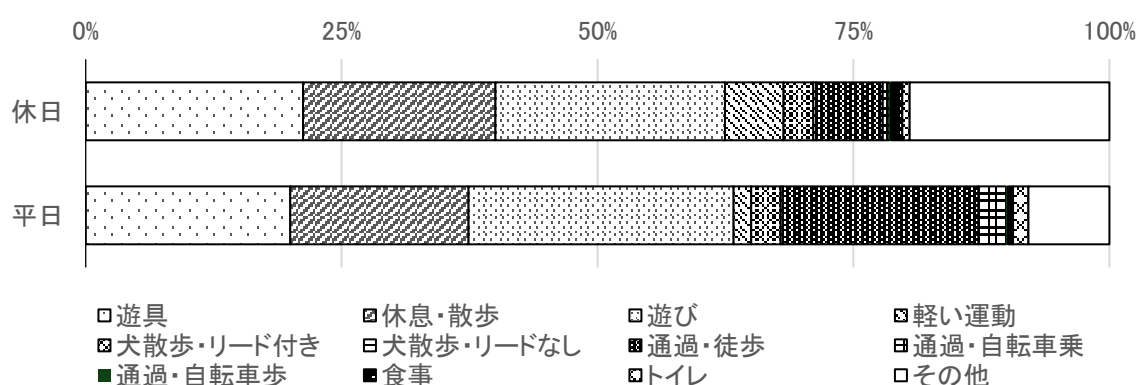


図 2-1-4 令和6年度 利用内容別利用者数

②前回調査との比較

前回調査と比較して、「遊び」が、「休日」(21.6%→22.4%)とほとんど変化がないのに対して、「平日」(32.1%→25.9%)はやや減少している。割合の大きい利用内容の「遊具遊び」は「休日」(15.9%→21.2%)、平日(15.4%→20.0%)といずれも増加している。一方で、「休息・散歩」は「休日」(27.6%→18.8%)、平日(23.9%→17.4%)といずれも減少している。

「通過自転車(乗り入れ)」は、休日は変化はなく、平日が0.6%から2.7%に増加し、公園内を自転車で走行する利用者はやや増加している。

表 2-1-6 利用内容別利用者数比較【休日】（上段・人／下段・割合(%)）

	遊具	休息・散歩	遊び	軽い運動	犬散歩・リード付き	犬散歩・リードなし	通過・徒歩	通過・自転車乗	通過・自転車歩	食事	トイレ	その他
令和 6 年	1,516	1,345	1,600	406	210	19	461	44	17	82	51	1,389
	21.2	18.8	22.4	5.7	2.9	0.3	6.5	0.6	0.2	1.1	0.7	19.5
平成 26 年	996	1,730	1,355	399	165	10	566	39	15	123	69	801
	15.9	27.6	21.6	6.4	2.6	0.2	9.0	0.6	0.2	2.0	1.1	12.8

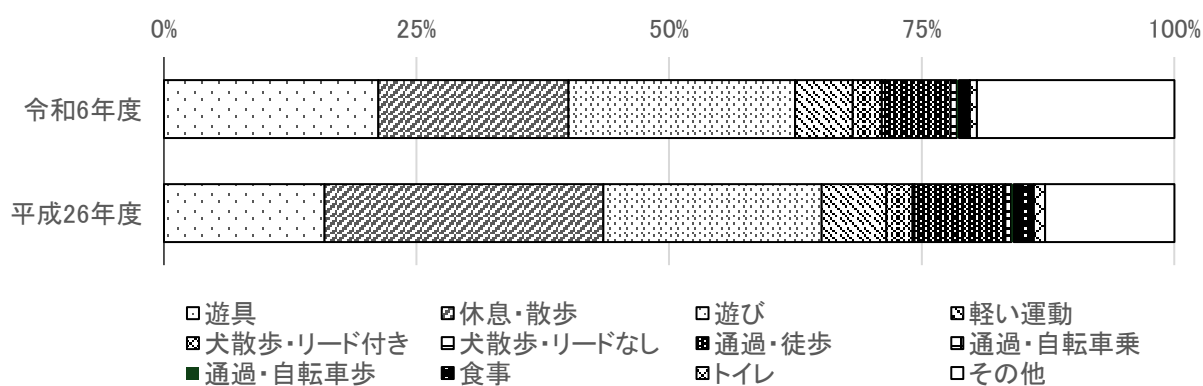


図 2-1-5 利用内容別利用者数比較【休日】

表 2-1-7 利用内容別利用者数比較【平日】（上段・人／下段・割合(%)）

	遊具	休息・散歩	遊び	軽い運動	犬散歩・リード付き	犬散歩・リードなし	通過・徒歩	通過・自転車乗	通過・自転車歩	食事	トイレ	その他
令和 6 年	1,065	927	1,380	91	153	8	1,016	145	13	25	82	420
	20.0	17.4	25.9	1.7	2.9	0.2	19.1	2.7	0.2	0.5	1.5	7.9
平成 26 年	825	1,285	1,725	226	152	9	518	32	8	183	102	307
	15.4	23.9	32.1	4.2	2.8	0.2	9.6	0.6	0.1	3.4	1.8	5.7

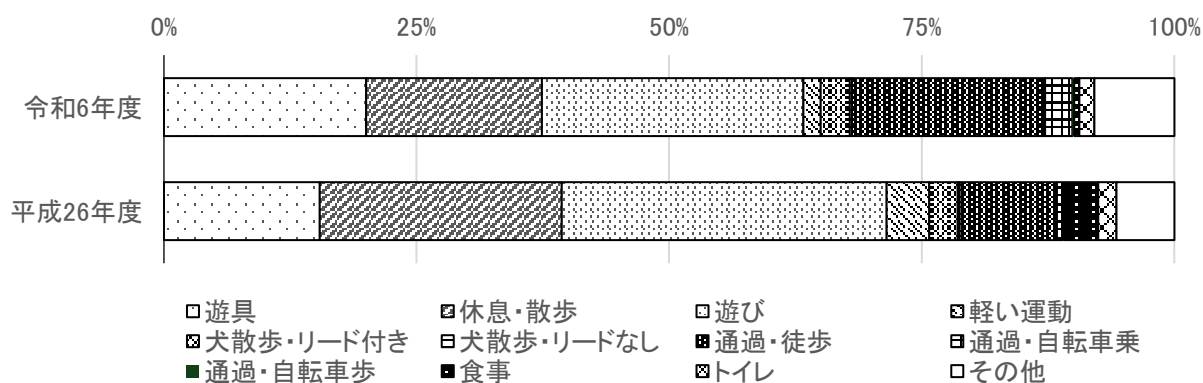


図 2-1-6 利用内容別利用者数比較【平日】

4) グループ構成別利用者数

①令和 6 年度の傾向

「休日」は、「家族・子連れ」が最も多く 40.4%であり、次いで「グループ」が 26.5%と多くなっている。

「平日」は、「単身」が最も多く 31.9%、次いで「園外保育」が 28.0%で多くなっている。「園外保育」は「休日」は 1.3%となっている。

表 2-1-8 令和 6 年度 グループ構成別利用者数（上段・人／下段・割合 (%)）

	一人	夫婦・友人	家族・子連れ	グループ	園外保育
休日	1,287	981	2,887	1,889	96
	18.0	13.7	40.4	26.5	1.3
平日	1,699	420	877	837	1,492
	31.9	7.9	16.5	15.7	28.0

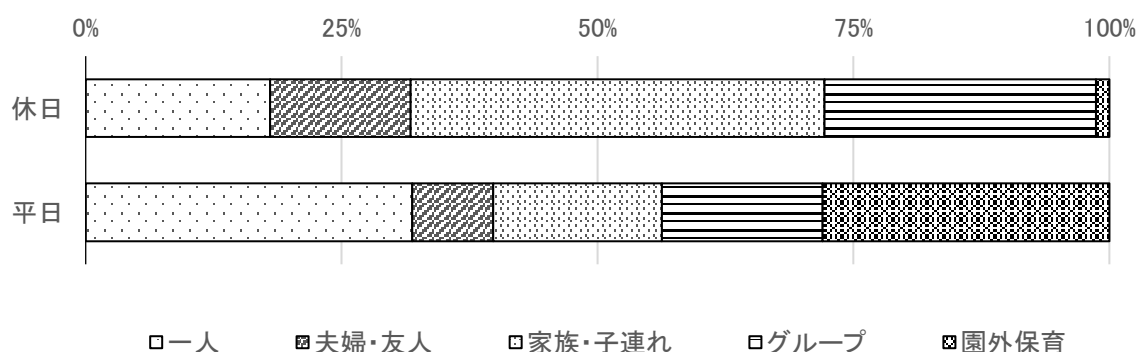


図 2-1-7 令和 6 年度 グループ構成別利用者数

②前回調査との比較

前回調査と比較して、「休日」は、すべてのグループ構成で利用者が増加しているものの割合をみると大きな変化は見られない。「夫婦・友人」が 3.8 ポイント、「園外保育」が 1.2 ポイント増加している。

「平日」は、「家族・子連れ」が 10 ポイント近く減少する一方で「園外保育」が 10 ポイント近く増加している。その他のグループ構成では大きな変化は見られない。

表 2-1-9 グループ構成別利用者数比較【休日】（上段・人／下段・割合 (%)）

	一人	夫婦・友人	家族・子連れ	グループ	園外保育
令和 6 年度	1,287	981	2,887	1,889	96
	18.0	13.7	40.4	26.5	1.3
平成 26 年度	1,257	621	2,748	1,637	5
	20.1	9.9	43.8	26.1	0.1

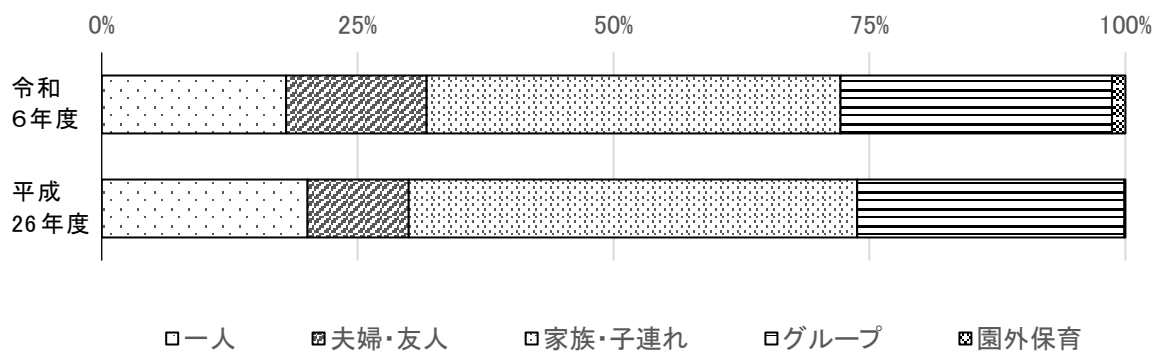


図 2-1-8 グループ構成別利用者数比較【休日】

表 2-1-10 グループ構成別利用者数比較【平日】（上段・人／下段・割合（%））

	一人	夫婦・友人	家族・子連れ	グループ	園外保育
令和 6 年度	1,699	420	877	837	1,492
	31.9	7.9	16.5	15.7	28.0
平成 26 年度	1,734	354	1,411	884	987
	32.3	6.6	26.3	16.5	18.4

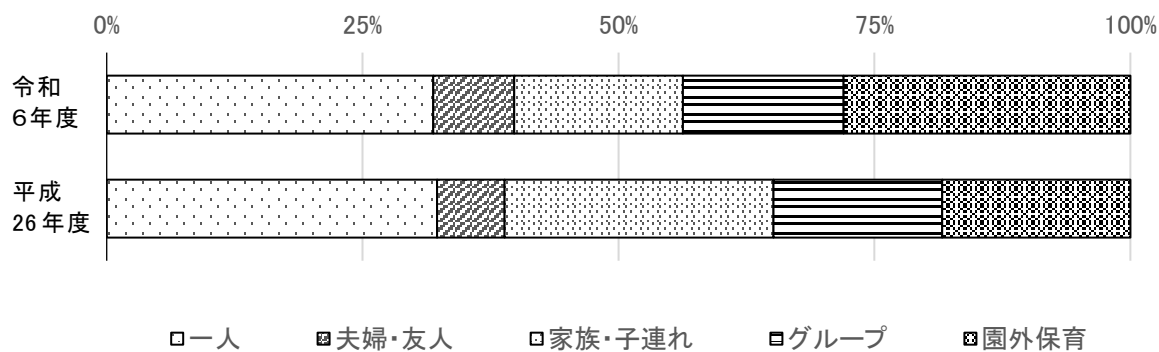


図 2-1-9 グループ構成別利用者数比較【平日】

5) 時間帯¹別利用者状況

①令和 6 年度の傾向

時間帯別利用者数の状況は、休日は「午後」が最も多く 2,149 人の利用者となっている。
これに対して最も少ないのは「朝」の 399 人で 5 倍以上の差がある。

また、「平日」は午前中が最も多く、1,872 人であるのに対し、「朝」が最も少なく 511 人となっている。

②前回調査との比較

前回調査と同様に、「休日」の利用者が最も多い時間帯は、「午後」であり、「平日」の利用者数が最も多い時間帯は「午前」であった。

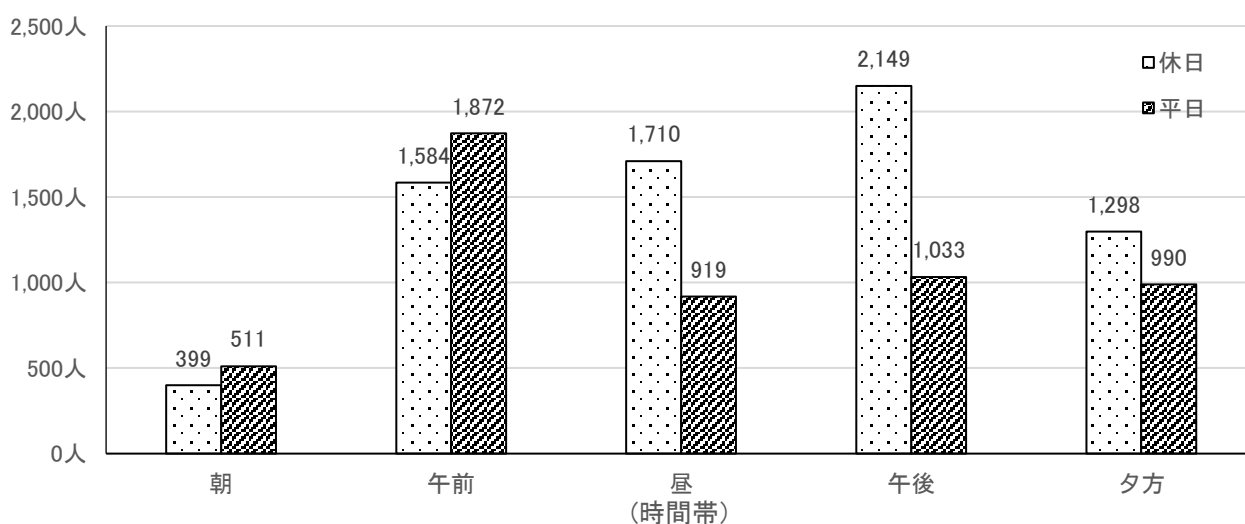


図 2-1-10 時間帯・曜日別利用者数（令和 6 年度）

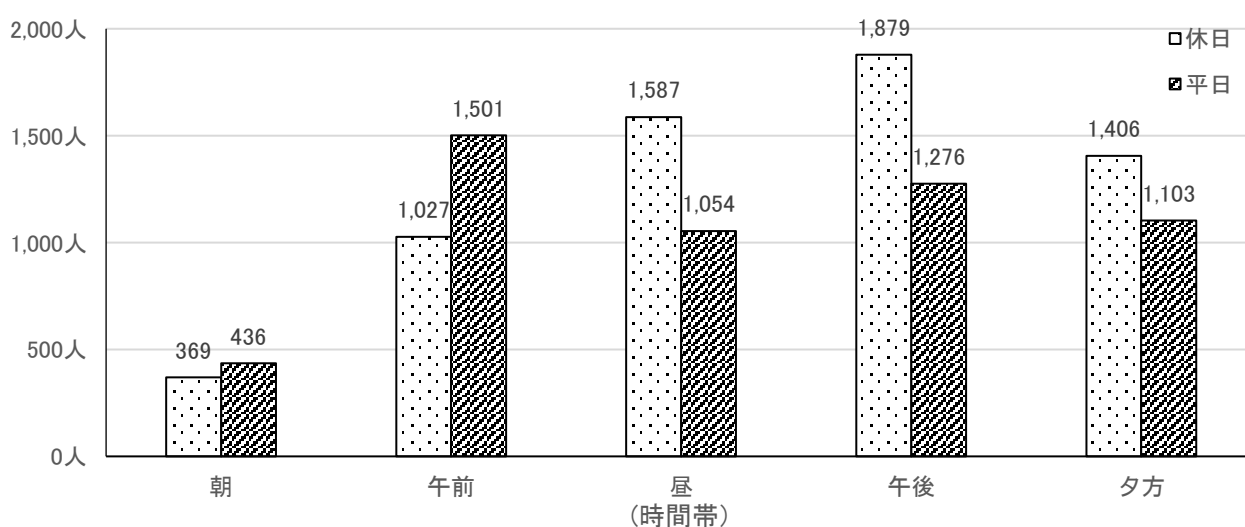


図 2-1-11 時間帯・曜日別利用者数（平成 26 年度）

¹ 時間帯区分は朝＝7：30 午前＝10：00 昼＝12：30 午後＝14：30 夕方＝16：30

6) 時間別・年齢別利用者状況

①令和6年度の傾向

各時間帯の年齢別の利用者数を見ると、「休日」は、1日を通して「成人」の利用が最も多くなっている。ピークは「午後」で「中高生」を除くすべての属性で利用者が最も多くなっている。

平日は、「午前」の「幼児」の利用が多く、1日を通して、「高齢者」の利用が、「休日」と同程度の利用になっている。「幼児」の利用が多かったため、全時間帯で最も利用者が多かったのは「午前」となっている。

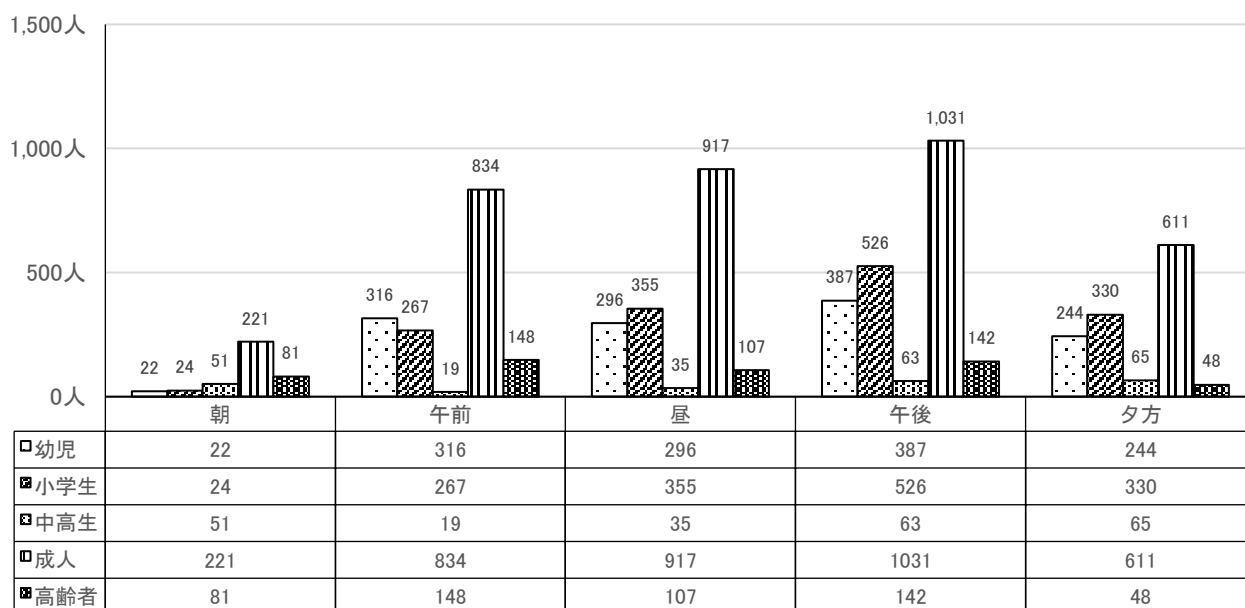


図 2-1-12 令和6年度時間別・年齢別利用者数（休日）

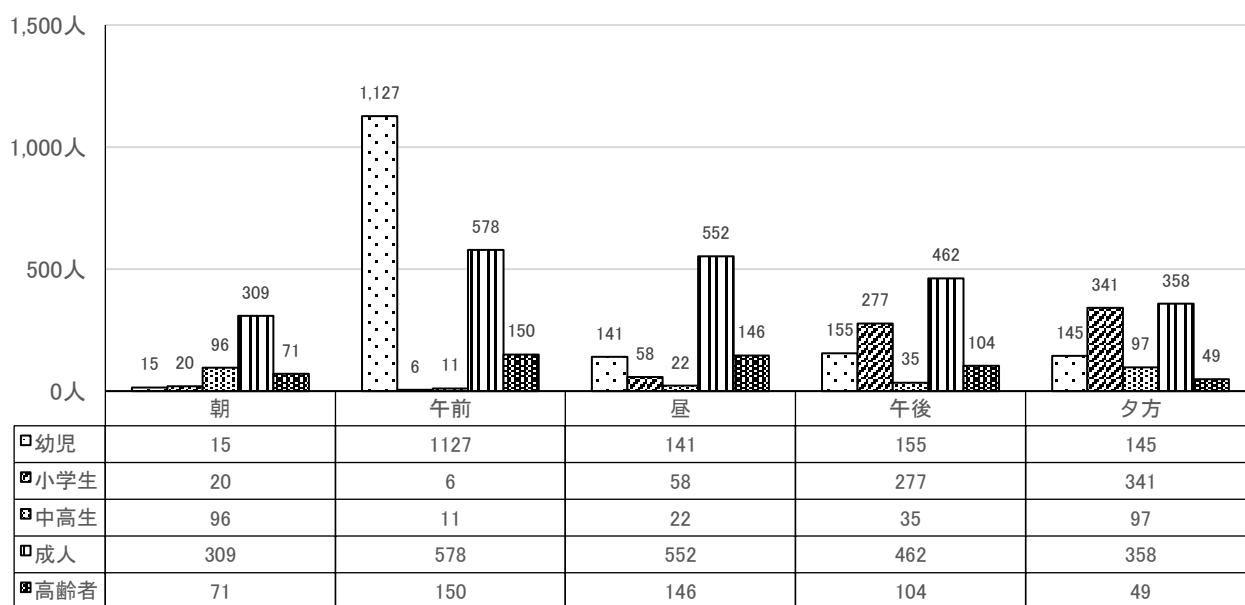


図 2-1-13 令和6年度時間別・年齢別利用者数（平日）

②前回調査との比較

前回調査では、「休日」は、「成人」が多いことは今回調査と同じであるが、利用者数は全体としてやや少なくなっている。ピークはやはり「午後」であるが、「高齢者」は「昼」が最も多くなっている。

平日は、「午前」は前回も「幼児」最も多くなっているが、今回は1,127人と千人を超えている。一方で「成人」は「昼」と「午後」で今回よりも利用者数が多くなっている。

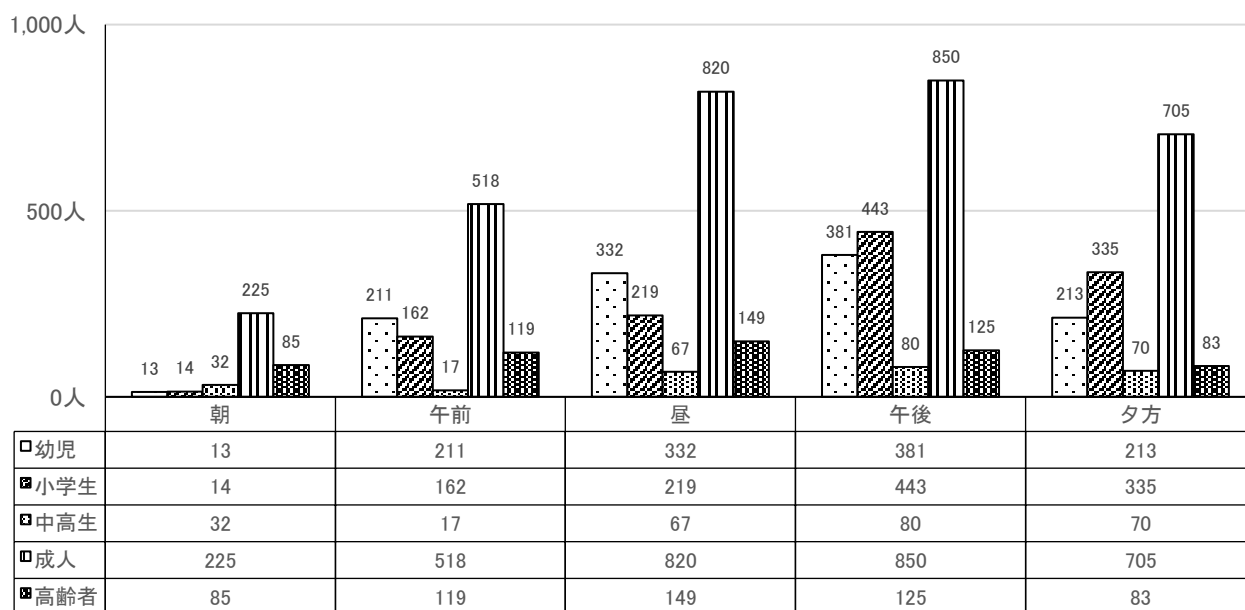


図 2-1-14 平成 26 年度時間別・年齢別利用者数（休日）

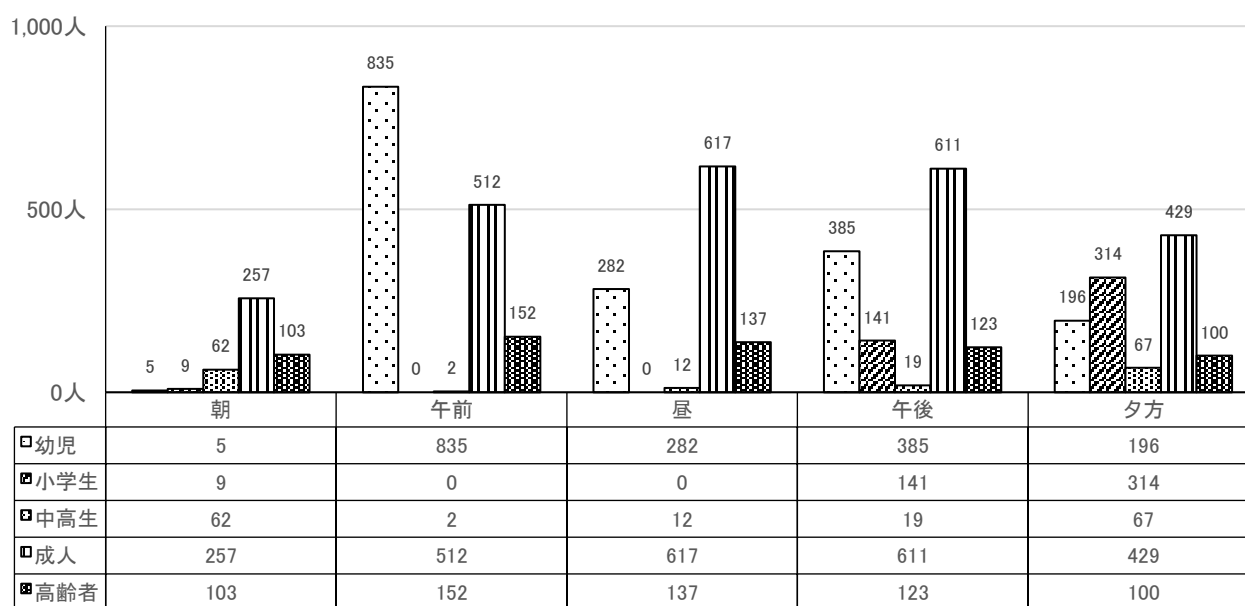


図 2-1-15 平成 26 年度時間別・年齢別利用者数（平日）

7) 時間別・利用内容別利用者数

①令和6年度の傾向

「休日」は、「午前」は「その他」が最も多く、「午後」と「夕方」では「遊び」と「遊具」が最も多い。「昼」は「休憩・散歩」が最も多くなっている。

「平日」は、「朝」は「通過（徒歩）」が最も多くなっている。「午前」は「遊び」と「遊具」が突出して多くなっている。また「休憩・散歩」は「午前」から「午後」にかけてコンスタントな利用目的となっている。

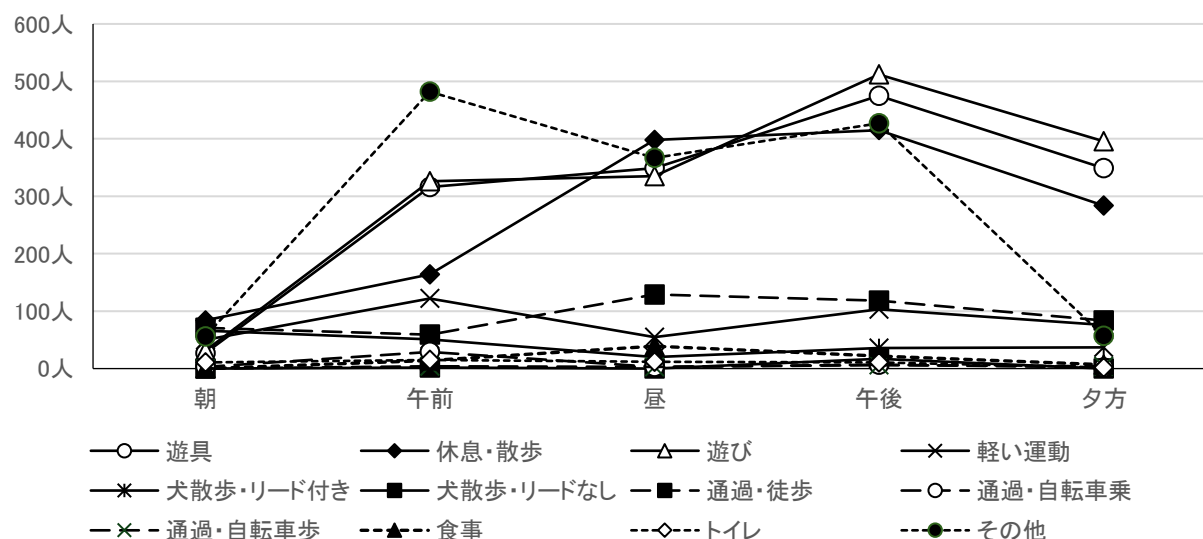


図 2-1-16 令和6年度 時間帯別・利用内容利用者数（休日）

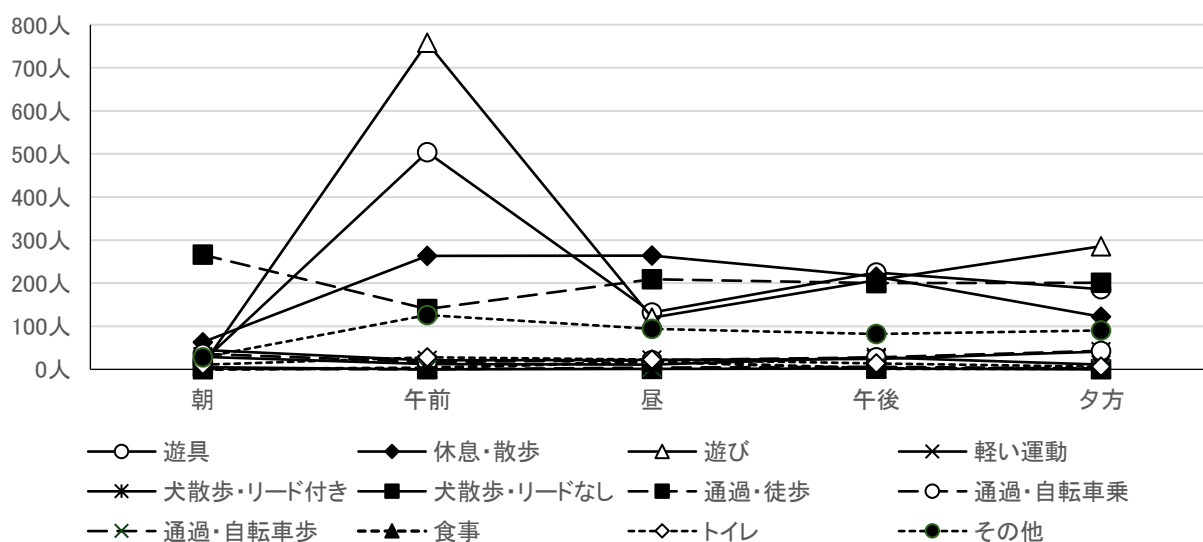


図 2-1-17 令和6年度 時間帯別・利用内容利用者数（平日）

②前回調査との比較

「休日」は、前回調査で「休息・散歩」が「朝」から「午後」まで多かったが、今回調査では、午前は「その他」が多く、「昼」は「休息・散歩」、「午後」「夕方」は「遊び」がそれぞれ最も多くなっている。

「平日」では、「午前」「昼」は前回同様「遊び」が多く、次いで「遊具」が多い。「昼」は「休息・散歩」が最も多い。「午後」は前回同様「遊び」「休息・散歩」が高いが、今回は「通過・徒歩」も高くなっている。「夕方」は前は「休息・散歩」が高くなっていたが今回は「遊び」が最も高くなっている。

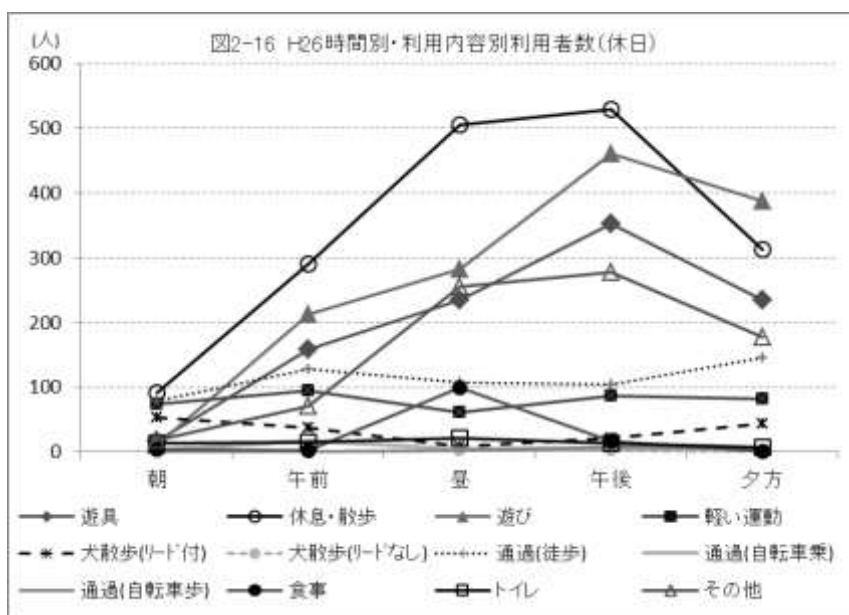


図 2-1-18 平成 26 年度 時間帯別・利用内容別利用者数（休日）

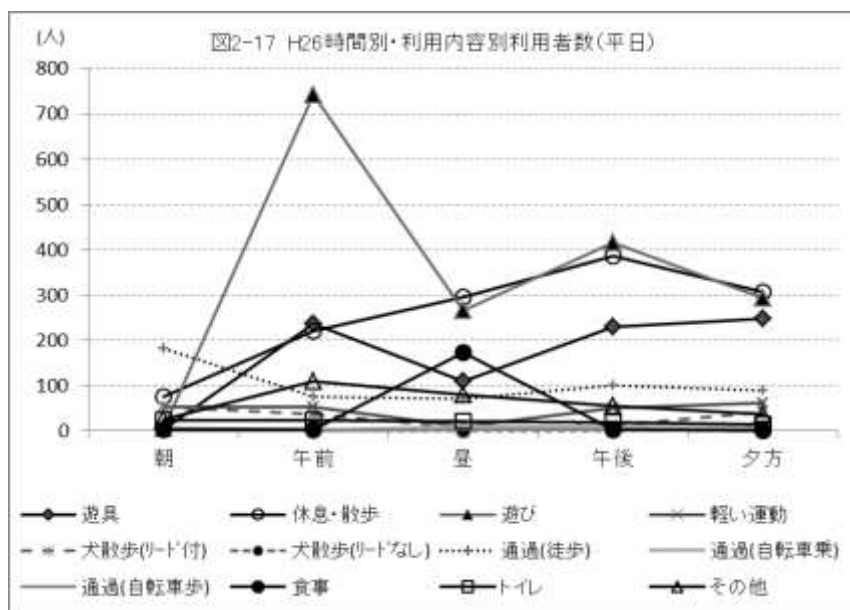


図 2-1-19 平成 26 年度 時間帯別・利用内容別利用者数（平日）

8) 時間別・グループ区分別利用者数

①令和6年度の傾向

「休日」では、「朝」を除いて、「家族・子連れ」による利用が最も多くなっている。次いで「グループ」の利用が多く、特に「午前」は「家族・子連れ」とほぼ同じ数となっている。

「平日」では、「午前」の「園外保育」が突出して多くなっている。他では「朝」から「昼」までは、「一人」が多くなっている。

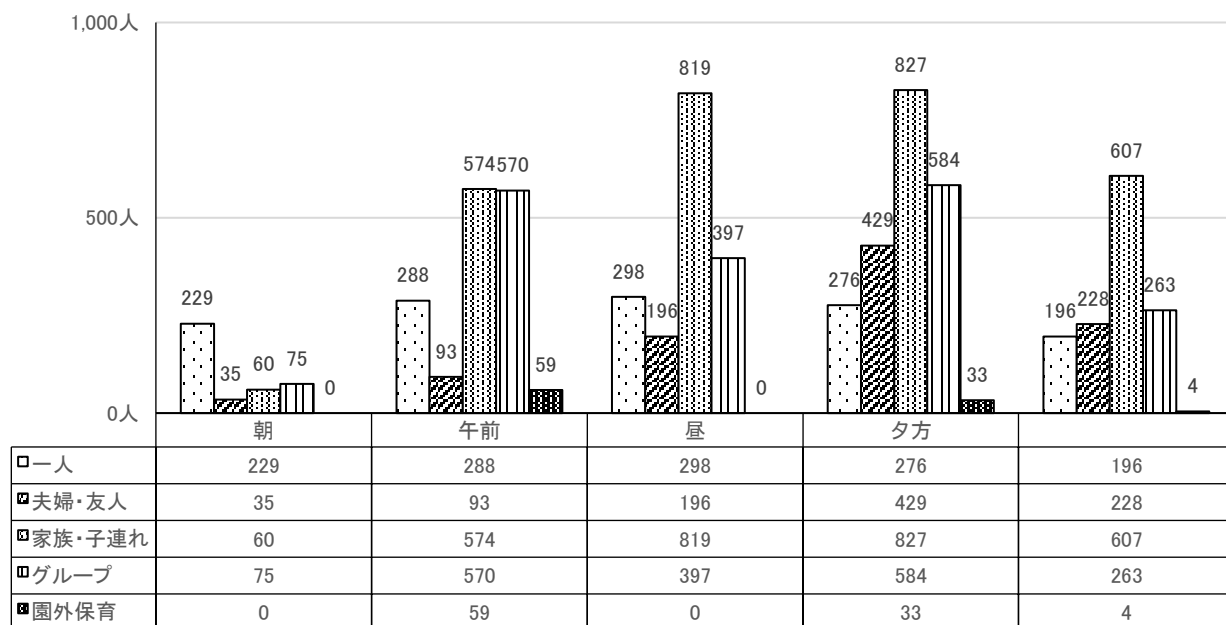


図 2-1-20 令和6年度時間別・グループ区分別利用者数（休日）

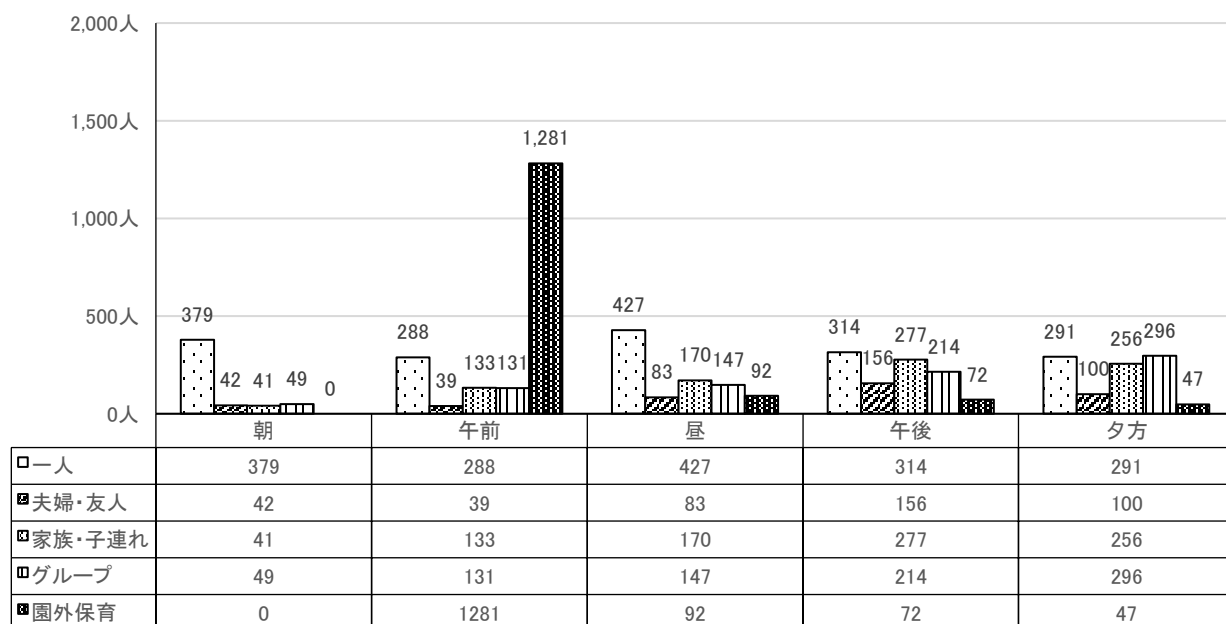


図 2-1-21 令和6年度時間別・グループ区分別利用者数（平日）

②前回調査との比較

前回調査でも、「休日」は「朝」を除いて、「家族・子連れ」による利用が最も多くなっている。次いで「朝」と「午前」は「一人」、「昼」から「夕方」は「グループ」の利用が多い。

「平日」でも「午前」の「園外保育」が高いことは共通している。「朝」と「昼」は「一人」、「午後」と「夕方」は「家族・子連れ」が多くなっている。

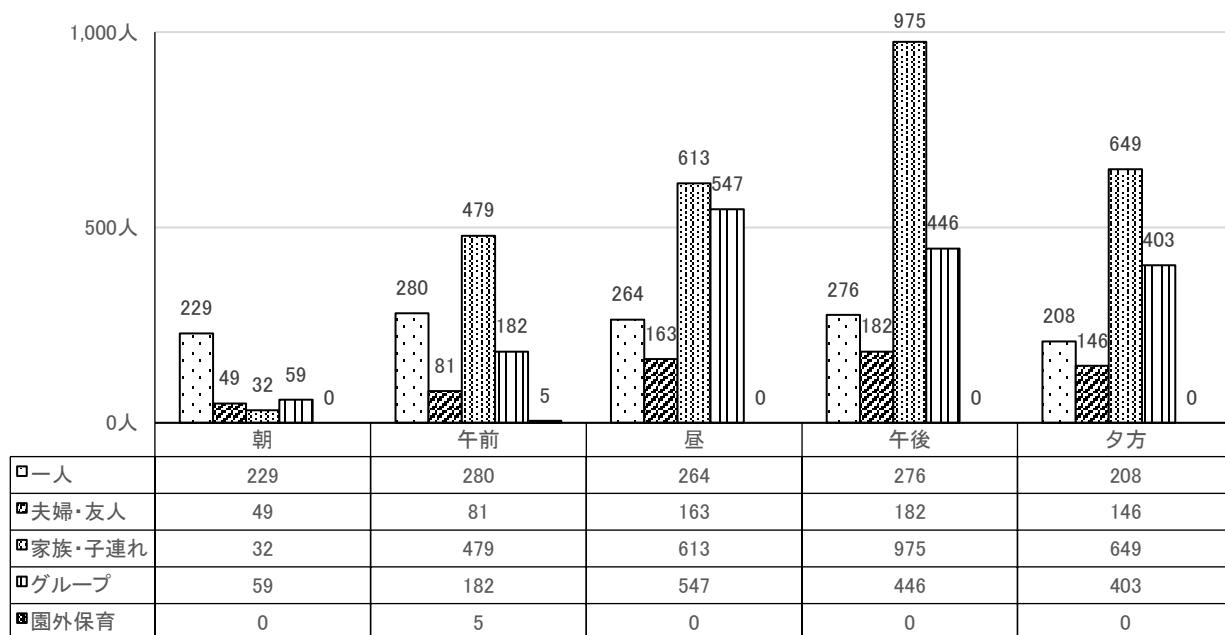


図 2-1-22 平成 26 年度時間別・グループ区分別利用者数（休日）

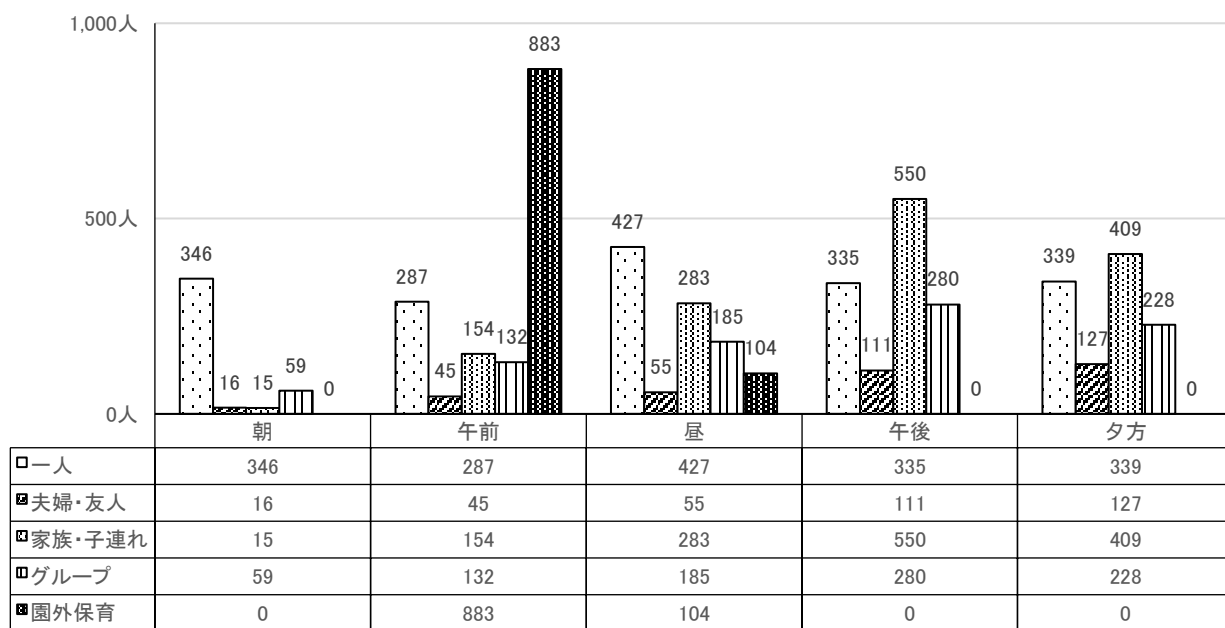


図 2-1-23 平成 26 年度時間別・グループ区分別利用者数（平日）

9) 公園利用の姿（曜日別利用者数のまとめ）

利用者数調査から、現状の公園利用の姿は、次のように想定される。

①休日の公園利用の姿

「休日」の利用は、「朝」は「成人」や「中高生」、「60歳以上」が、「休息・散歩」を楽しむ姿や、通過であったり犬の散歩のために公園を利用する様子も多く見られる。

「午前」になると、「成人」が「幼児」や「小学生」を連れた「家族・子連れ」が増え、「遊具」やその他の「遊び」をする姿が増えてくる。また、「成人」の「グループ」が集う「その他」の利用も見られるようになる。

「昼」頃から「午後」は、「家族・子連れ」がさらに増え、「遊具」やその他の「遊び」、「休息・散歩」をする姿などが見られるようになる。

「夕方」は、「家族・子連れ」を含むすべての利用形態で利用が減るものの、「遊具」などで「遊び」をする姿が多い。

前回調査との比較では、全体的に主な利用者層やグループ構成に大きな変化はないが、利用内容に関しては「休息・散歩」のほかに「遊具」や「遊び」など他の利用が進んでいる状況が見られる。

②平日の公園利用の姿

「平日」の利用は、「朝」は、「成人」や「中高生」で「単身」の通勤通学「通過（徒歩）」利用が多く、「60歳以上」の「休息・散歩」も見られる。

「午前」では、「園外保育」により「幼児」が「遊具」やその他の「遊び」で利用している。

「昼」は、「成人」が「単身」で、「休息・散歩」をしている姿や「通過（徒歩）」のための利用が多く見られる。

「午後」から「夕方」は「成人」に加え、「幼児」「小学生」を連れた「家族・子連れ」や「グループ」の利用が増え、「遊具」やその他の「遊び」が主な利用になっている。

前回調査との比較では、主な利用者層に大きな変化はないが、昼～夕方の「家族・子連れ」の利用が減少し、主にグループによる利用が見られるようになっている。

表 2-1-11 令和 6 年度 休日の公園利用の姿

利用時間帯	主な利用者層	グループ構成	主な利用内容
朝 (7:30～8:30)	幼児/小学生/中高生/ 成人/60歳以上	単身/夫婦・友人/家族・子連れ/ グループ/園外保育	遊具/休息・散歩/遊び/軽い運動/犬散歩(リード付)/犬散歩(リード無)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
午前 (10:00～11:00)	幼児/小学生/中高生/ 成人/60歳以上	単身/夫婦・友人/家族・子連れ/ グループ/園外保育	遊具/休息・散歩/遊び/軽い運動/犬散歩(リード付)/犬散歩(リード無)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
昼 (12:30～13:30)	幼児/小学生/中高生/ 成人/60歳以上	単身/夫婦・友人/家族・子連れ/ グループ/園外保育	遊具/休息・散歩/遊び/軽い運動/犬散歩(リード付)/犬散歩(リード無)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
午後 (14:30～15:30)	幼児/小学生/中高生/ 成人/60歳以上	単身/夫婦・友人/家族・子連れ/ グループ/園外保育	遊具/休息・散歩/遊び/軽い運動/犬散歩(リード付)/犬散歩(リード無)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
夕方 (16:30～17:30)	幼児/小学生/中高生/ 成人/60歳以上	単身/夫婦・友人/家族・子連れ/ グループ/園外保育	遊具/休息・散歩/遊び/軽い運動/犬散歩(リード付)/犬散歩(リード無)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他

表 2-1-12 令和 6 年度 平日の公園利用の姿

利用時間帯	主な利用者層	グループ構成	主な利用内容
朝 (7:30～8:30)	幼児/小学生/中高生/ 成人/60歳以上	単身/夫婦・友人/家族・子連れ/ グループ/園外保育	遊具/休息・散歩/遊び/軽い運動/犬散歩(リード付)/犬散歩(リード無)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
午前 (10:00～11:00)	幼児/小学生/中高生/ 成人/60歳以上	単身/夫婦・友人/家族・子連れ/ グループ/園外保育	遊具/休息・散歩/遊び/軽い運動/犬散歩(リード付)/犬散歩(リード無)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
昼 (12:30～13:30)	幼児/小学生/中高生/ 成人/60歳以上	単身/夫婦・友人/家族・子連れ/ グループ/園外保育	遊具/休息・散歩/遊び/軽い運動/犬散歩(リード付)/犬散歩(リード無)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
午後 (14:30～15:30)	幼児/小学生/中高生/ 成人/60歳以上	単身/夫婦・友人/家族・子連れ/ グループ/園外保育	遊具/休息・散歩/遊び/軽い運動/犬散歩(リード付)/犬散歩(リード無)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
夕方 (16:30～17:30)	幼児/小学生/中高生/ 成人/60歳以上	単身/夫婦・友人/家族・子連れ/ グループ/園外保育	遊具/休息・散歩/遊び/軽い運動/犬散歩(リード付)/犬散歩(リード無)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他

※ ○ は利用が最も多かった属性を示す。また ○ は次いで利用が多かった属性を示す。

表 2-1-13 平成 26 年度 休日の公園利用の姿

利用時間帯	主な利用者層	グループ構成	主な利用内容
朝 (7:30~8:30)	幼児/小学生/中高生/ <u>成人</u> 60歳以上	<u>単身</u> 夫婦・友人/家族・子連れ/ <u>グループ</u> 園外保育	遊具/ <u>休息・散歩</u> /遊び/ <u>軽い運動</u> /犬散歩(<u>リード付</u>)/犬散歩(<u>リード無</u>)/ <u>通過(徒歩)</u> /通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
午前 (9:45~10:45)	幼児/小学生/中高生/ <u>成人</u> 60歳以上	<u>単身</u> 夫婦・友人/ <u>家族・子連れ</u> / <u>グループ</u> 園外保育	遊具/ <u>休息・散歩</u> /遊び/ <u>軽い運動</u> /犬散歩(<u>リード付</u>)/犬散歩(<u>リード無</u>)/ <u>通過(徒歩)</u> /通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
昼 (12:00~13:00)	幼児/小学生/中高生/ <u>成人</u> 60歳以上	<u>単身</u> 夫婦・友人/ <u>家族・子連れ</u> / <u>グループ</u> 園外保育	遊具/ <u>休息・散歩</u> /遊び/ <u>軽い運動</u> /犬散歩(<u>リード付</u>)/犬散歩(<u>リード無</u>)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/ <u>その他</u>
午後 (14:30~15:30)	幼児/小学生/中高生/ <u>成人</u> 60歳以上	<u>単身</u> 夫婦・友人/ <u>家族・子連れ</u> / <u>グループ</u> 園外保育	遊具/ <u>休息・散歩</u> /遊び/ <u>軽い運動</u> /犬散歩(<u>リード付</u>)/犬散歩(<u>リード無</u>)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/ <u>その他</u>
夕方 (16:00~17:00)	幼児/小学生/中高生/ <u>成人</u> 60歳以上	<u>単身</u> 夫婦・友人/ <u>家族・子連れ</u> / <u>グループ</u> 園外保育	遊具/ <u>休息・散歩</u> /遊び/ <u>軽い運動</u> /犬散歩(<u>リード付</u>)/犬散歩(<u>リード無</u>)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/ <u>その他</u>

表 2-1-14 平成 26 年度 平日の公園利用の姿

利用時間帯	主な利用者層	グループ構成	主な利用内容
朝 (7:30~8:30)	幼児/小学生/中高生/ <u>成人</u> 60歳以上	<u>単身</u> 夫婦・友人/家族・子連れ/ <u>グループ</u> 園外保育	遊具/ <u>休息・散歩</u> /遊び/ <u>軽い運動</u> /犬散歩(<u>リード付</u>)/犬散歩(<u>リード無</u>)/ <u>通過(徒歩)</u> /通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
午前 (9:45~10:45)	幼児/小学生/中高生/ <u>成人</u> 60歳以上	<u>単身</u> 夫婦・友人/ <u>家族・子連れ</u> / <u>グループ</u> 園外保育	遊具/ <u>休息・散歩</u> /遊び/ <u>軽い運動</u> /犬散歩(<u>リード付</u>)/犬散歩(<u>リード無</u>)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/その他
昼 (12:00~13:00)	幼児/小学生/中高生/ <u>成人</u> 60歳以上	<u>単身</u> 夫婦・友人/ <u>家族・子連れ</u> / <u>グループ</u> 園外保育	遊具/ <u>休息・散歩</u> /遊び/ <u>軽い運動</u> /犬散歩(<u>リード付</u>)/犬散歩(<u>リード無</u>)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/ <u>食事</u> /トイレ/その他
午後 (14:30~15:30)	幼児/小学生/中高生/ <u>成人</u> 60歳以上	<u>単身</u> 夫婦・友人/ <u>家族・子連れ</u> / <u>グループ</u> 園外保育	遊具/ <u>休息・散歩</u> /遊び/ <u>軽い運動</u> /犬散歩(<u>リード付</u>)/犬散歩(<u>リード無</u>)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/ <u>その他</u>
夕方 (16:00~17:00)	幼児/小学生/中高生/ <u>成人</u> 60歳以上	<u>単身</u> 夫婦・友人/ <u>家族・子連れ</u> / <u>グループ</u> 園外保育	遊具/ <u>休息・散歩</u> /遊び/ <u>軽い運動</u> /犬散歩(<u>リード付</u>)/犬散歩(<u>リード無</u>)/通過(徒歩)/通過(自転車乗)/通過(自転車歩)/食事/トイレ/ <u>その他</u>

※ ○ は利用が最も多かった属性を示す。また太字・下線の表記は次いで利用が多かった属性を示す。

(2) 公園種別ごとの利用者数（現地調査）

目黒区では目黒区みどりの基本計画等により、目黒区の管理する公園等を以下のように区分し、整備・管理運営を進めている。本項ではこれらの種別ごとの利用者数を集計する。

なお、児童遊園は、公園種別では「児童遊園」は「児童公園」に含まれるが、別途集計することとする。

表 2-1-15 目黒区の公園種別

	公園種別	概要
全区単位	区民公園	区民の休息や散策、スポーツ、催事などの活動の拠点及び緑の保全と回復の拠点
地区単位	地域公園	地域のコミュニティ活動の場として、また、区の自然・歴史・文化・景観といったさまざまな特性を活かし、自然とのふれあいや学習の場となる地域の緑の拠点
住区単位	児童公園	こどもや高齢者が自宅から歩いて5分程で到達できる利用圏域として住区を2～4に分け、こどもたちがのびのびとした創造的な遊びができる場、高齢者の軽スポーツ、語らいや憩いの場となる住区の緑の拠点（児童遊園は、児童公園の中に含む）
	広場公園	こどもから高齢者まですべての人々に、レクリエーションや軽スポーツができる公園として、またコミュニティ活動や催事ができる住区の身近な公園
	街かど公園	市街地の小規模な空間ながらも、都市景観の形成や都市環境の改善に寄与するとともに、住民の日常生活における語らいやふれあいの場となる公園
	都市緑地	市街地における都市環境の改善や都市景観を向上させるとともに、自然を主体とした観察や学習に利用できる場及びまちの緑のネットワークの拠点
準公園	ふれあい広場	街づくり事業により発生する残地など、密集市街地の小空間として災害時における延焼を防止するとともに、商店街や事業地区における活性化の拠点ともなる区民のコミュニティ活動の場
	遊び場等	国・都・民有地の遊休地や寺社の境内を、こどもの遊びや軽スポーツなどで利用する広場

（「都市整備部事業概要（平成25年度実績）」を基に作成）

1) 公園種別ごとの利用者数

① 休日の利用状況

種別では、前回同様に「地域公園」が29.6%で、最も多くの割合を占めているが、主要な公園である「区民公園」、「地域公園」及び「広場公園」を合わせた利用者の割合が、前回の62.9%から65.4%に増加している。

増加している種別は、「区民公園」が15.2%から26.8%に、「児童公園」が6.8%から11.6%に、「街かど公園」が1.6%から3.5%に、「児童遊園」が10.7%から11.7%に増加している。

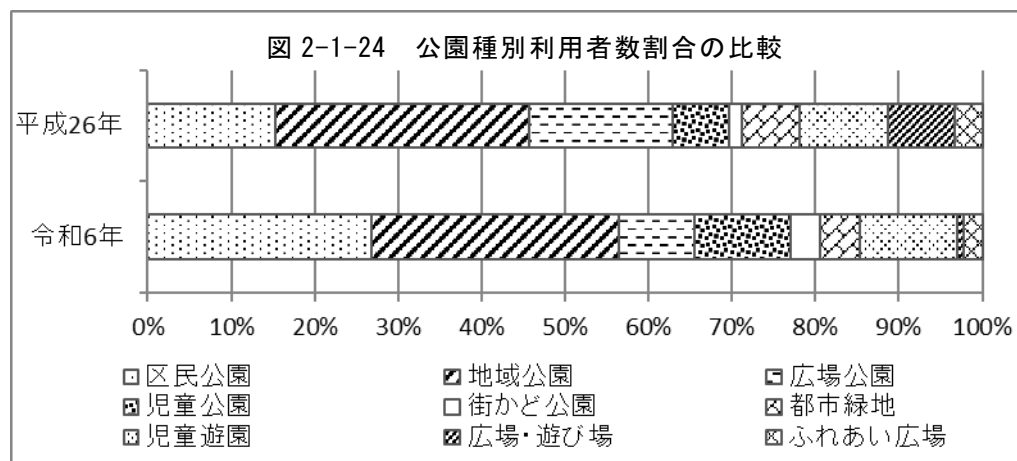
一方で、「遊び場等」では8.0%から0.8%に減少している。

表 2-1-15 R6 公園種別利用者数の割合（休日）

公園種別	施設数	総面積 (㎡)	総利用者数 (人)	利用者数の 割合(%)
区民公園	5	122,955	1,912	26.8
地域公園	9	104,855	2,117	29.6
広場公園	5	17,376	645	9.0
児童公園	15	24,650	831	11.6
街かど公園	27	8,417	247	3.5
都市緑地	11	25,038	340	4.8
児童遊園	48	24,282	838	11.7
遊び場等	8	2,667	56	0.8
ふれあい広場	7	6,480	154	2.2
合計	135	336,720	7,140	100.0

表 2-1-16 H26 公園種別利用者数の割合（休日）

公園種別	施設数	総面積 (㎡)	総利用者数 (人)	利用者数の 割合(%)
区民公園	5	122,955	955	15.2
地域公園	9	104,855	1,911	30.5
広場公園	6	21,889	1,075	17.2
児童公園	15	24,650	425	6.8
街かど公園	26	8,013	98	1.6
都市緑地	10	23,775	430	6.9
児童遊園	49	24,900	668	10.7
遊び場等	8	2,667	501	8.0
ふれあい広場	7	6,480	205	3.3
合計	135	340,184	6,268	100.0



②平日の利用状況

種別では、前回調査と同様に、「地域公園」が27.2%で最も多くの割合を占めている。また、主要な公園である「区民公園」、「地域公園」、「広場公園」を合わせた割合が、前回の60.5%から49.8%に減少している。一方、「児童公園」が9.1%から13.2%に、「街かど公園」が3.0%から5.5%に、「都市緑地」が8.8%から10.5%に、「児童遊園」が14.3%から16.1%に、「ふれあい広場」が3.1%から4.7%に増加している。

これは、平日は、保育所等が、「園外保育」として、近隣の小規模な公園の遊具や広場を使う割合が高くなっていることが要因として考えられる。

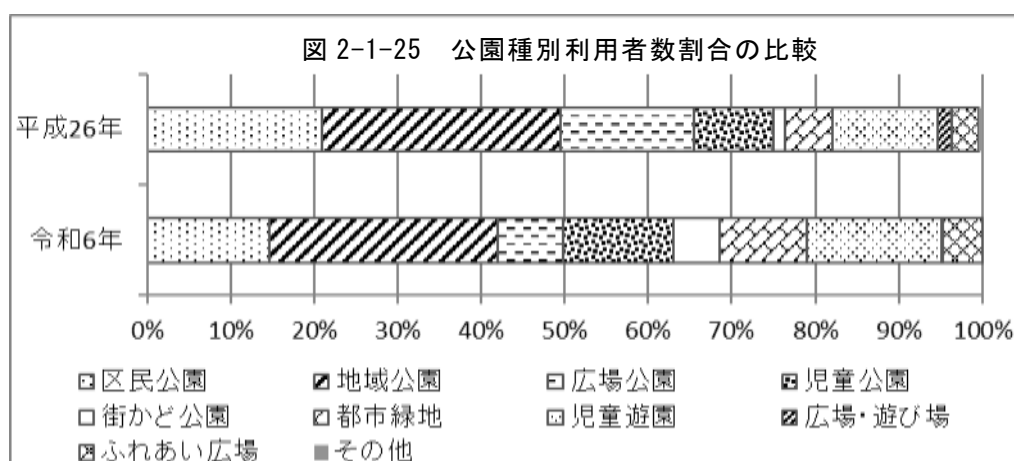
表 2-1-17 R6 公園種別利用者数の割合（平日）

R6 公園種別利用者数の割合（平日）

公園種別	施設数	総面積 (㎡)	総利用者数 (人)	利用者数の 割合(%)
区民公園	5	122,955	781	14.7
地域公園	9	104,855	1,451	27.2
広場公園	5	17,376	422	7.9
児童公園	15	24,650	705	13.2
街かど公園	27	8,417	291	5.5
都市緑地	11	25,038	559	10.5
児童遊園	48	24,282	857	16.1
遊び場等	8	2,667	8	0.2
ふれあい広場	7	6,480	251	4.7
合計	135	336,720	5,325	100.0

表 2-1-18 H26 公園種別利用者数の割合（平日）

公園種別	施設数	総面積 (㎡)	総利用者数 (人)	利用者数の 割合(%)
区民公園	5	122,955	926	17.2
地域公園	9	104,855	1,417	26.4
広場公園	6	21,889	910	16.9
児童公園	15	24,650	486	9.1
街かど公園	26	8,013	160	3.0
都市緑地	10	23,775	473	8.8
児童遊園	49	24,900	770	14.3
遊び場等	8	2,667	64	1.2
ふれあい広場	7	6,480	164	3.1
合計	135	340,184	5,370	100.0



2) 公園種別年齢別利用者数

①休日利用者の状況

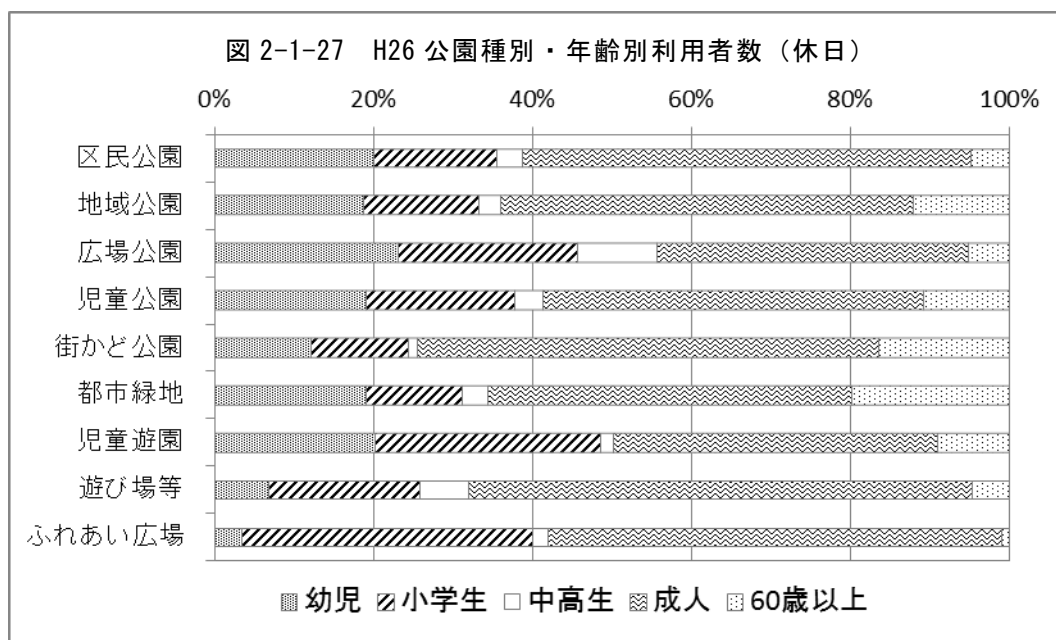
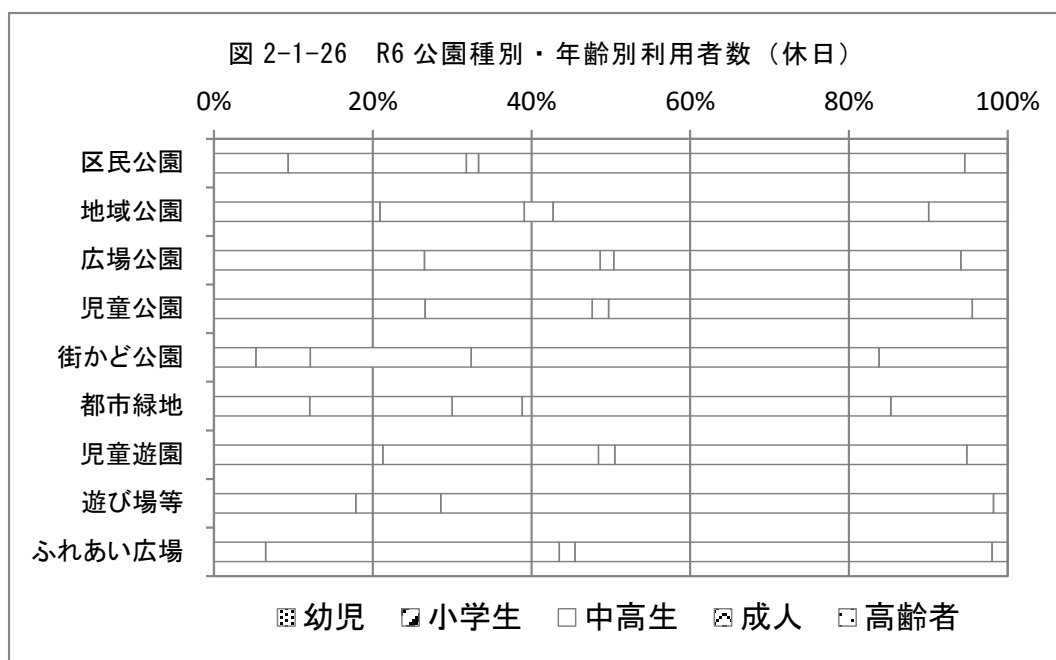
○令和6年度調査の傾向

遊具や広場など、子供達が遊びやすい施設となっている「広場公園」、「児童公園」、「児童遊園」では、「幼児」や「小学生」の割合が高く約5割となっている。

「区民公園」、「街かど公園」、「遊び場等」は、「成人」、「60歳以上」の利用の割合が約70%である。

○前回調査との比較

区民公園で「小学生」の割合が増加した一方で、「幼児」の割合が減少した。また、街かど公園では「幼児」や「小学生」の割合が減少した一方で、「中高生」の割合が増加した。なお、「幼児」に関しては児童公園や遊び場等での割合が増加している。人口の約25%を占める「60歳以上」の公園の利用は、前回と同様に少ない状況が続いている。



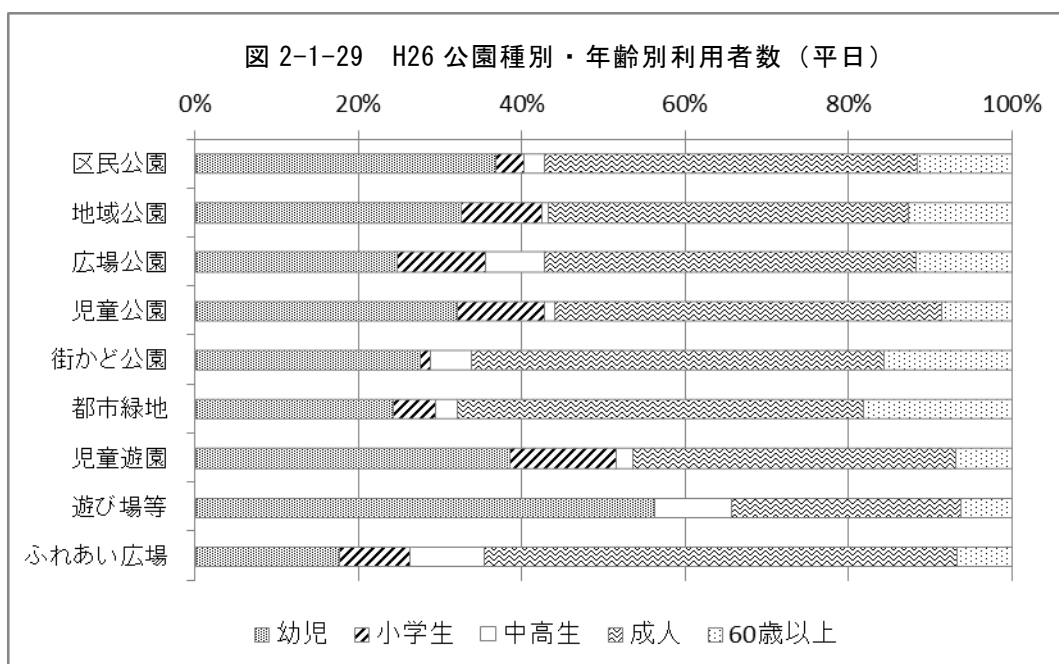
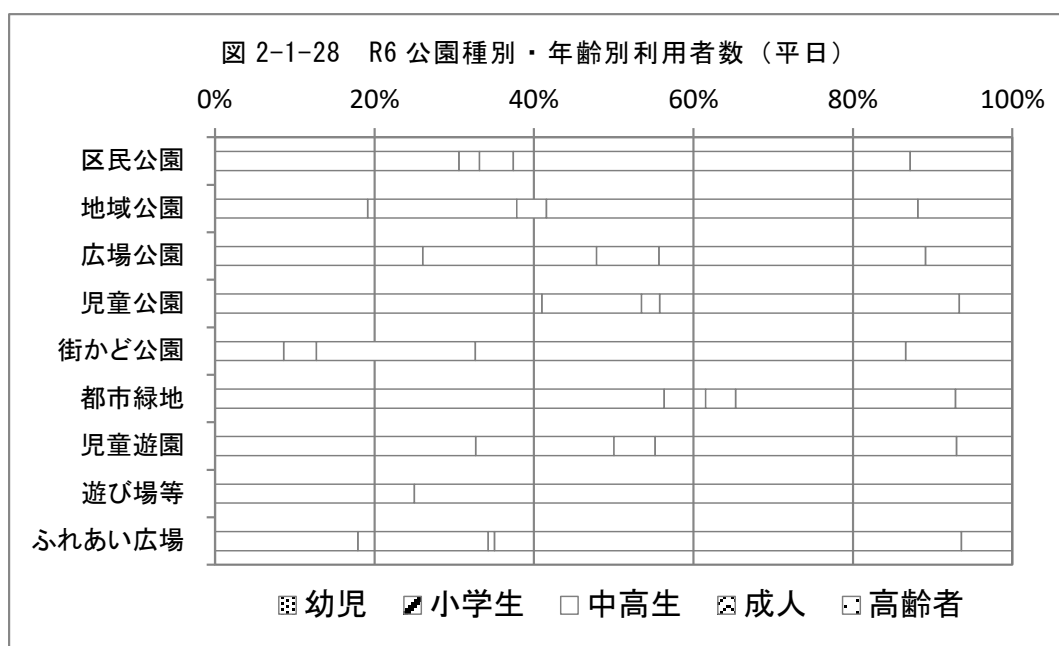
②平日利用者の状況

○令和6年度調査による傾向

「都市緑地」では「幼児」の割合が高く50%を超えており、次いで「児童公園」が約40%である。「園外保育」において、比較的規模の大きい公園の利用が進んでいるためと考えられる。

○前回調査との比較

都市緑地で「幼児」が大幅に増加したが、他の公園種別では全般的に減少傾向である。地域公園や広場公園では「小学生」の割合が増加し、休日と同様に街かど公園では「中高生」の利用が増加した。「60歳以上」の公園の利用は、前回と同様に少ない状況が続いている。



3) 単位面積当たり利用者数

① 休日の利用状況

○令和6年度の傾向

「広場公園」が最も利用密度が高く、次いで「児童遊園」、「児童公園」となっており、広場や遊具など利用しやすいことが要因と考えられる。

○前回調査との比較

「区民公園」「地域公園」「児童公園」「街かど公園」「児童遊園」で利用密度が増加している。

一方、「広場公園」「都市緑地」「遊び場等」「ふれあい広場」は減少している。特に、「遊び場等」の利用が大幅に減少したが、これは前回調査においてイベント開催（合流点遊び場）が要因で利用者が増えたためである。

表 2-1-19 R6 公園種別単位面積当たり利用者数（休日）

公園種別	施設数	総面積 (㎡)	総利用者数 (人)	100㎡当たり 利用者数(人)
区民公園	5	122,955	1,912	1.56
地域公園	9	104,855	2,117	2.02
広場公園	5	17,376	645	3.71
児童公園	15	24,650	831	3.37
街かど公園	27	8,417	247	2.93
都市緑地	11	25,038	340	1.36
児童遊園	48	24,282	838	3.45
遊び場等	8	2,667	56	2.10
ふれあい広場	7	6,480	154	2.38
全体	135	336,720	7,140	2.12

表 2-1-20 H26 公園種別単位面積当たり利用者数（休日）

公園種別	施設数	総面積 (㎡)	総利用者数 (人)	100㎡当たり 利用者数(人)
区民公園	5	122,955	955	0.78
地域公園	9	104,855	1,911	1.82
広場公園	6	21,889	1,075	4.91
児童公園	15	24,650	425	1.72
街かど公園	26	8,013	98	1.22
都市緑地	10	23,775	430	1.81
児童遊園	49	24,900	668	2.68
遊び場等	8	2,667	501	18.79
ふれあい広場	7	6,480	205	3.16
全体	135	340,184	6,268	1.84

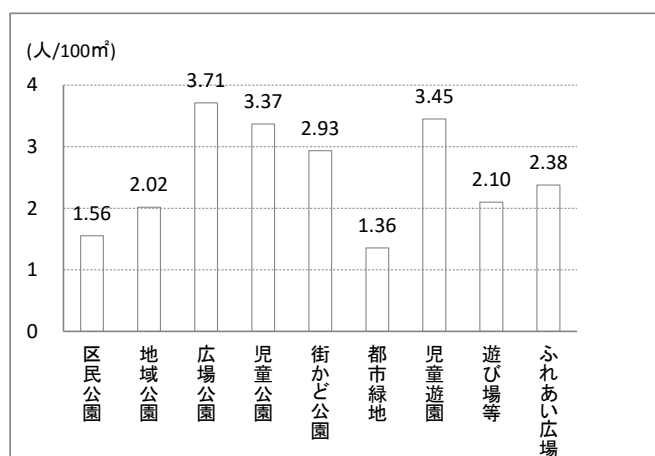


図 2-1-30 R6 公園種別単位面積当たり利用者数（休日）

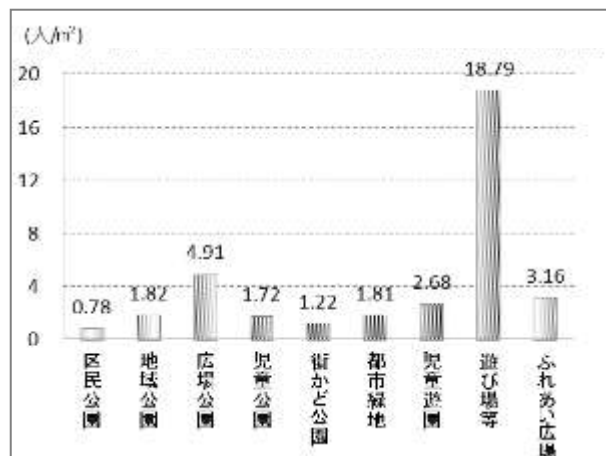


図 2-1-31 H26 公園種別単位面積当たり利用者数（休日）

②平日の利用状況

○令和6年度の傾向

「ふれあい広場」が最も利用密度が高く、次いで「児童遊園」「街かど公園」となっており、小規模ながらも日常的に良く利用されている公園であるといえる。

○前回調査との比較

前回調査と比較すると、「地域公園」「児童公園」「街かど公園」「都市緑地」「児童遊園」「ふれあい広場」で、利用密度が増加している。

「区民公園」「広場公園」「遊び場等」が減少し、特に「広場公園」や「遊び場等」は大幅に利用密度が減少している。

表 2-1-21 R6 公園種別単位面積当たり利用者数（平日）

公園種別	施設数	総面積 (㎡)	総利用者数 (人)	100㎡当たり 利用者数(人)
区民公園	5	122,955	781	0.64
地域公園	9	104,855	1,451	1.38
広場公園	5	17,376	422	2.43
児童公園	15	24,650	705	2.86
街かど公園	27	8,417	291	3.46
都市緑地	11	25,038	559	2.23
児童遊園	48	24,282	857	3.53
遊び場等	8	2,667	8	0.30
ふれあい広場	7	6,480	251	3.87
全体	135	336,720	5,325	1.58

表 2-1-22 H26 公園種別単位面積当たり利用者数（平日）

公園種別	施設数	総面積 (㎡)	総利用者数 (人)	100㎡当たり 利用者数(人)
区民公園	5	122,955	926	0.75
地域公園	9	104,855	1,417	1.35
広場公園	6	21,889	910	4.16
児童公園	15	24,650	486	1.97
街かど公園	26	8,013	160	2.00
都市緑地	10	23,775	473	1.99
児童遊園	49	24,900	770	3.09
遊び場等	8	2,667	64	2.40
ふれあい広場	7	6,480	164	2.53
		340,184	5,370	1.58

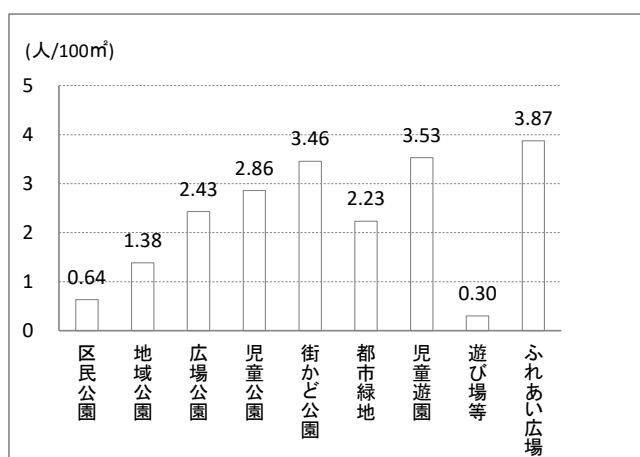


図 2-1-32 R6 公園種別単位面積当たり利用者数（平日）

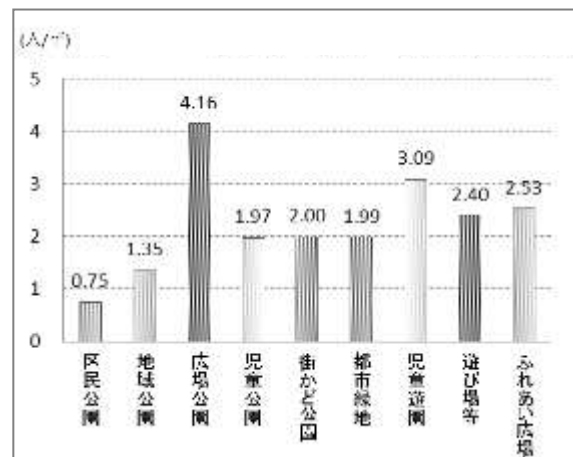


図 2-1-33 H26 公園種別単位面積当たり利用者数（平日）

(3) 公園別利用者数（現地調査）

1) 公園別の利用者数

①休日の状況

○令和6年度調査で利用者数の多い公園

13位までが規模の大きい「区民公園」、「地域公園」、「広場公園」である。また、それ以外では、「大塚山公園」、「目黒天空庭園」、「唐ヶ崎児童遊園」、「大鳥公園」が利用者の多い公園となっている。

○利用者数の多い公園—前回調査との比較

前回調査で、利用者の多かった「合流点遊び場」「油面公園」「目黒銀座児童遊園」「東山公園-1」「オーパス夢ひろば」「すずめのお宿緑地公園」などが、今回調査では利用者数が減少した。

今回調査時に「合流点遊び場」はイベントの利用が無かったことが要因と考えられる。

また、「油面公園」は老朽化した施設の更新等のため閉鎖中であり、令和6年度調査では対象外である。

表 2-1-23 R6 休日利用者数 上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(㎡)	利用者数(人)	人/100㎡
1	碑文谷公園-2(運動)	区民公園	25,716	985	3.8
2	清水池公園	地域公園	5,798	417	7.2
3	衾町公園	地域公園	6,694	406	6.1
4	碑文谷公園-1(池)	区民公園	17,818	398	2.2
5	東山公園-2	地域公園	15,230	322	2.1
6	中目黒公園	地域公園	22,074	269	1.2
7	駒場公園	区民公園	40,396	209	0.5
8	駒場野公園-1	区民公園	28,584	184	0.6
9	目黒区民センター公園	地域公園	10,000	182	1.8
10	中根公園	地域公園	8,271	176	2.1
11	菅刈公園	地域公園	20,049	167	0.8
12	西郷山公園	地域公園	10,550	152	1.4
13	めぐろ区民キャンパス公園・広場	広場公園	5,100	152	3.0
14	大塚山公園	児童公園	1,708	147	8.6
15	目黒天空庭園	都市緑地	7,096	139	2.0
16	駒場野公園-2(拡張部分)	区民公園	10,440	136	1.3
17	不動公園	広場公園	3,332	135	4.1
18	東根公園	広場公園	2,866	133	4.6
19	田向公園	広場公園	2,773	128	4.6
20	唐ヶ崎児童遊園	児童遊園	804	116	14.4
21	大鳥公園	児童公園	829	109	13.1

表 2-1-24 H26 休日利用者数 上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(㎡)	利用者数(人)	人/100㎡
1	合流点遊び場	遊び場等	954	461	48.3
2	碑文谷公園-1(池)	区民公園	17,818	454	2.5
3	めぐろ区民キャンパス公園・広場	広場公園	5,100	388	7.6
4	清水池公園	地域公園	5,798	349	6.0
5	目黒区民センター公園	地域公園	10,000	274	2.7
6	碑文谷公園-2(運動)	区民公園	25,716	256	1.0
7	中目黒公園	地域公園	22,074	253	1.1
8	菅刈公園	地域公園	20,049	246	1.2
9	西郷山公園	地域公園	10,550	231	2.2
10	中根公園	地域公園	8,271	210	2.5
11	目黒天空庭園	都市緑地	7,096	188	2.6
12	油面公園	広場公園	4,513	182	4.0
13	田向公園	広場公園	2,773	153	5.5
14	目黒銀座児童遊園	児童遊園	1,362	145	10.6
15	不動公園	広場公園	3,332	145	4.4
16	東山公園-1	地域公園	6,189	132	2.1
17	オーパス夢ひろば	ふれあい広場	2,985	132	4.4
18	すずめのお宿緑地公園	都市緑地	7,494	127	1.7
19	東根公園	広場公園	2,866	125	4.4
20	東山公園-2	地域公園	15,230	112	0.7
21	衾町公園	地域公園	6,694	104	1.6

○利用者数の少ない公園

利用者の少ない公園は、小規模な公園が多い。このうち、遊具や休憩施設が整備されているにもかかわらず、前回及び今回調査で利用者のいなかった箇所は、「茶屋坂街かど公園」

「本町北公園」「碑文谷一丁目遊び場」の3施設である。

「茶屋坂街かど公園」は、腰を掛ける場所はあるものの遊具等はなく、利用目的が限定的であるため利用者に選択されにくい施設になっていると考えられる。

また、「本町北公園」はスプリング遊具が1つあるのみで、住宅地にも隣接していることもあり利用者に選択されにくくなっていると考えられる。

「碑文谷一丁目遊び場」は、遊具等はなく園内の見通しが確保されていないなどがマイナス要因となり、利用者に選択されにくい施設となっていると考えられる。

表 2-1-25 R6 休日利用者数の少ない施設

公園名称	公園種別	面積(㎡)	利用者数(人)
松見坂公園	街かど公園	191	0
青葉台四丁目街かど公園	街かど公園	151	0
大坂上児童遊園	児童遊園	735	0
小川児童遊園	児童遊園	152	0
茶屋坂街かど公園	街かど公園	105	0
けこぼ坂街かど公園	街かど公園	105	0
月光町児童遊園	児童遊園	341	0
向原西街かど公園	街かど公園	209	0
本町北公園	街かど公園	204	0
西小山ニコニコ広場	ふれあい広場	66	0
碑文谷一丁目遊び場	遊び場等	175	0
原町タンポポ公園	街かど公園	221	0
洗足北街かど公園	街かど公園	196	0
曾根児童遊園	児童遊園	346	0
中根ねむの木公園	街かど公園	383	0

表 2-1-26 H26 休日利用者数の少ない施設

公園名称	公園種別	面積(㎡)	利用者数(人)
駒場三丁目もちの木公園	都市緑地	293	0
氷川台児童遊園	児童遊園	326	0
東山中児童遊園	児童遊園	413	0
茶屋坂街かど公園	街かど公園	105	0
目黒不動防災ひろば	遊び場等	443	0
上目黒四丁目防災ひろば	遊び場等	449	0
下五児童遊園	児童遊園	361	0
羅漢寺川ふれあい広場	ふれあい広場	208	0
ポケットオアシス清水	遊び場等	103	0
芦毛塚街かど公園	街かど公園	230	0
五本木二丁目街かど公園	街かど公園	426	0
中央町一丁目児童遊園	児童遊園	618	0
本町みなみ街かど公園	街かど公園	257	0
本町北公園	街かど公園	204	0
三谷児童遊園	児童遊園	600	0
碑文谷一丁目遊び場	遊び場等	175	0
洗足ひだまり公園	街かど公園	223	0
原町児童遊園	児童遊園	440	0
洗足二丁目児童遊園	児童遊園	503	0
子の神ふれあい広場	ふれあい広場	168	0
境橋街かど公園	街かど公園	88	0

②平日の状況

○令和6年度調査の利用者数の多い公園

休日同様に、利用者数の多い公園は、規模の大きな「区民公園」、「地域公園」、「広場公園」が多くなっているが、「上四児童遊園」や平成30年に新設した「氷川さくら公園」等、小規模な公園でも利用者の多い箇所が見られる。

○利用者数の多い公園—前回調査との比較

前回調査と比較して、利用者が減少している公園は、「目黒銀座児童遊園」「目黒天空庭園」「なべこ坂緑地公園」「伊勢脇公園」「不動公園」「田向公園」「駒場野公園-2」「駒場公園」が挙げられる。

「目黒銀座児童遊園」や「目黒天空庭園」は、前回調査時に全面改修や新設された公園であり、利用者が一時的に増加したものと考えられる。その他は前回調査より減少したものの、30名以上の利用があり、いずれも一定の利用者数を維持できていると考えられる。

表 2-1-27 R6 平日利用者数 上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)	人/100m ²
1	東山公園-2	地域公園	15,230	326	2.1
2	中央緑地公園	都市緑地	3,803	325	8.5
3	碑文谷公園-2(運動)	区民公園	25,716	325	1.3
4	碑文谷公園-1(池)	区民公園	17,818	277	1.6
5	目黒区民センター公園	地域公園	10,000	244	2.4
6	衾町公園	地域公園	6,694	193	2.9
7	中根公園	地域公園	8,271	180	2.2
8	目黒川船入場	ふれあい広場	2,716	148	5.4
9	清水池公園	地域公園	5,798	145	2.5
10	東山公園-1	地域公園	6,189	143	2.3
11	めぐろ区民キャンパス公園・広場	広場公園	5,100	113	2.2
12	駒場野公園-1	区民公園	28,584	107	0.4
13	上四児童遊園	児童遊園	387	105	27.1
14	菅刈公園	地域公園	20,049	101	0.5
15	田道広場公園	広場公園	3,304	99	3.0
16	氷川さくら公園	街かど公園	404	92	22.8
17	宮前公園	児童公園	4,117	90	2.2
18	中目黒公園	地域公園	22,074	89	0.4
19	大塚山公園	児童公園	1,708	82	4.8
20	三角山公園	児童公園	1,499	81	5.4
21	田切公園	児童公園	1,396	80	5.7

表 2-1-28 H26 平日利用者数 上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)	人/100m ²
1	碑文谷公園-1(池)	区民公園	17,818	370	2.1
2	めぐろ区民キャンパス公園・広場	広場公園	5,100	323	6.3
3	碑文谷公園-2(運動)	区民公園	25,716	302	1.2
4	清水池公園	地域公園	5,798	290	5.0
5	油面公園	広場公園	4,513	275	6.1
6	東山公園-2	地域公園	15,230	267	1.8
7	中根公園	地域公園	8,271	264	3.2
8	中目黒公園	地域公園	22,074	178	0.8
9	目黒銀座児童遊園	児童遊園	1,362	166	12.2
10	目黒区民センター公園	地域公園	10,000	141	1.4
11	目黒天空庭園	都市緑地	7,096	128	1.8
12	なべこ坂緑地公園	都市緑地	1,039	106	10.2
13	伊勢脇公園	児童公園	2,123	104	4.9
14	中央緑地公園	都市緑地	3,803	104	2.7
15	不動公園	広場公園	3,332	103	3.1
16	田向公園	広場公園	2,773	103	3.7
17	駒場野公園-2(拡張部分)	区民公園	10,440	91	0.9
18	駒場公園	区民公園	40,396	87	0.2
19	菅刈公園	地域公園	20,049	83	0.4
20	駒場野公園-1	区民公園	28,584	76	0.3

○利用者数の少ない公園

前回・今回調査の両方で、利用者が見られなかった公園は、規模が小さく、短時間の休憩利用が主な利用内容になっていると想定される

「駒場三丁目もちの木公園」「氷川台児童遊園」「上一防災ひろば」「茶屋坂街かど公園」「目黒不動防災ひろば」「中根ねむの木公園」がある。

「氷川台児童遊園」は高台にあり、アクセスしづらい立地であること、「上一防災ひろば」「目黒不動防災ひろば」は防災施設の整備に重点がおかれたひろばであることなども日常の利用においてはマイナス要因になっていると考えられる。

表 2-1-29 R6 平日利用者数の少ない施設

公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)
駒場三丁目もちの木公園	都市緑地	293	0
青葉台四丁目街かど公園	街かど公園	151	0
氷川台児童遊園	児童遊園	326	0
日向児童遊園	児童遊園	300	0
小川児童遊園	児童遊園	152	0
烏森児童遊園	児童遊園	300	0
上一防災ひろば	遊び場等	97	0
茶屋坂街かど公園	街かど公園	105	0
目黒不動防災ひろば	遊び場等	443	0
元競馬南泉公園	街かど公園	371	0
下五児童遊園	児童遊園	361	0
ポケットオアシス清水	遊び場等	103	0
清水東児童遊園	児童遊園	477	0
西小山ニコニコ広場	ふれあい広場	66	0
洗足北街かど公園	街かど公園	196	0
子の神ふれあい広場	ふれあい広場	168	0
中根ねむの木公園	街かど公園	383	0
緑が丘児童遊園	児童遊園	583	0

表 2-1-30 H26 平日利用者数の少ない施設

公園種別	公園名称	面積(m ²)	利用者数(人)
駒場三丁目もちの木公園	都市緑地	293.48	0
駒場児童遊園	児童遊園	640.74	0
氷川台児童遊園	児童遊園	325.7	0
東山街かど公園	街かど公園	319.51	0
上一防災ひろば	遊び場等	96.92	0
茶屋坂街かど公園	街かど公園	104.69	0
不動前児童遊園	児童遊園	189.2	0
目黒不動防災ひろば	遊び場等	443.13	0
羅漢寺川ふれあい広場	ふれあい広場	207.96	0
金杉原南緑地公園	都市緑地	241.72	0
碑文谷一丁目遊び場	遊び場等	175.16	0
原町タンポポ公園	街かど公園	221.23	0
八雲三丁目緑地	都市緑地	220.29	0
柿の木坂西児童遊園	児童遊園	448.45	0
中根ねむの木公園	街かど公園	382.93	0

2) 単位面積当たり利用者数

① 休日の状況

単位面積当たり利用者数は、今回の調査で上位に挙げた施設は、「目黒川田道街かど公園」や「鷹番児童遊園」、新設された「氷川さくら公園」などがある。なお、最も利用者数の多い「目黒川田道街かど公園」は通過利用が多いことが要因である。

一方、一定以上の規模（1,000 m²以上）があり、

表 2-1-31 R6 単位面積・利用者数（休日）上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)	人/100m ²
1	目黒川田道街かど公園	街かど公園	149	50	33.6
2	鷹番児童遊園	児童遊園	315	69	21.9
3	氷川さくら公園	街かど公園	404	70	17.3
4	上四児童遊園	児童遊園	387	57	14.7
5	唐ヶ崎児童遊園	児童遊園	804	116	14.4
6	大鳥公園	児童公園	829	109	13.1
7	自由が丘公園	児童公園	990	108	10.9
8	上一防災ひろば	遊び場等	97	10	10.3
9	碑文谷八幡児童遊び場	遊び場等	196	19	9.7
10	大塚山公園	児童公園	1,708	147	8.6
11	八雲児童遊園	児童遊園	264	22	8.3
12	五本木東児童遊園	児童遊園	318	23	7.2
13	清水池公園	地域公園	5,798	417	7.2
14	田切公園	児童公園	1,396	90	6.4
15	金町公園	地域公園	6,694	406	6.1
16	桜森児童遊園	児童遊園	320	19	5.9
17	目黒銀座児童遊園	児童遊園	1,362	80	5.9
18	東山児童遊園	児童遊園	958	55	5.7
19	日向児童遊園	児童遊園	300	17	5.7

恒常的な利用で利用密度が高い公園として「大塚山公園」「田切公園」「目黒銀座児童遊園」などが挙げられる。

また、規模の大きい公園（5,000 m²以上）でも、特徴的な利用（釣り）のある「清水池公園」なども利用密度が高い公園となっている。

② 平日の状況

平日で利用密度の高い施設は、「園外保育」及び幼稚園や学校帰りの集団利用が主な利用形態となっている。なお、最も利用者数の多い「目黒川田道街かど公園」は休日と同様に通過利用が多いことが要因である。

一方、一定以上の規模（1,000 m²以上）があり、恒常的な利用で利用密度

表 2-1-32 R6 単位面積・利用者数（平日）上位施設

順位	公園名称	公園種別	面積(m ²)	利用者数(人)	人/100m ²
1	目黒川田道街かど公園	街かど公園	149	43	28.9
2	上四児童遊園	児童遊園	387	105	27.1
3	氷川さくら公園	街かど公園	404	92	22.8
4	五本木東児童遊園	児童遊園	318	58	18.3
5	鷹番児童遊園	児童遊園	315	41	13.0
6	大岡山児童遊園	児童遊園	405	40	9.9
7	東山街かど公園	街かど公園	320	28	8.8
8	洗足駅前ふれあい広場	ふれあい広場	287	25	8.7
9	中央緑地公園	都市緑地	3,803	325	8.5
10	自由が丘公園	児童公園	990	80	8.1
11	宮前児童遊園	児童遊園	292	23	7.9
12	五本木児童遊園	児童遊園	537	40	7.4
13	三谷児童遊園	児童遊園	600	43	7.2
14	清水町児童遊園	児童遊園	910	59	6.5
15	不動前児童遊園	児童遊園	189	11	5.8
16	田切公園	児童公園	1,396	80	5.7
17	目黒川船入場	ふれあい広場	2,716	148	5.4
18	三角山公園	児童公園	1,499	81	5.4
19	東山児童遊園	児童遊園	958	49	5.1

が高い公園として「中央緑地公園」「田切公園」「目黒川船入場」「三角山公園」などが挙げられる。

(4) 緑道利用状況（現地調査）

（調査時間帯 朝 7：30～8：00、昼 13：00～13：30、夕方 18：00～18：30）

1) 目黒川緑道

目黒川緑道は、玉川通りから北側に伸び、世田谷区の北沢川緑道、烏山川緑道に繋がる施設として整備された緑道である。

当該緑道は、図 3-34 のように、南側から車道—自転車道—歩道—流れ・緑地という構造になっており、自転車専用道路も緑道に含まれ、自転車と歩行者の混在は見られない。途中には、ベンチが点在し、休憩所ともなっている。



目黒川緑道—三宿方面

①休日の利用状況

歩行者は、「昼」の利用者が最も多く、次いで「夕方」、「朝」の順となっている。

自転車は、「昼」の池尻大橋駅方向への利用が最も多くなっている。

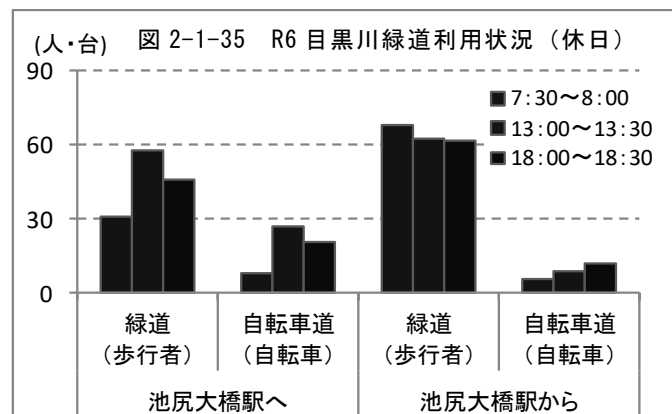
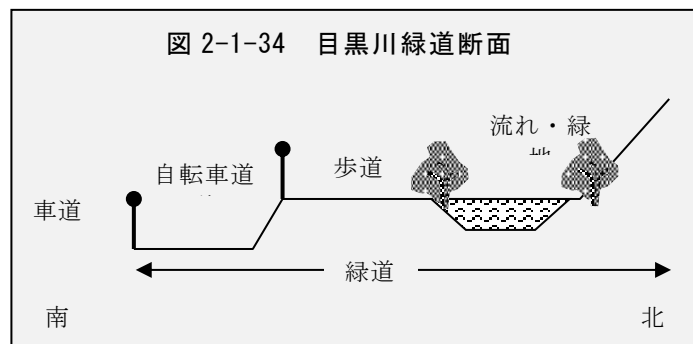


表 2-1-33 R6 目黒川緑道利用状況（休日）

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
池尻大橋駅 へ	緑道 (歩行者)	31	58	46	135
	自転車道 (自転車)	8	27	21	56
池尻大橋駅 から	緑道 (歩行者)	68	63	62	193
	自転車道 (自転車)	6	9	12	27
	休憩利用	0	0	0	0
合計		113	157	141	411

表 2-1-34 H26 目黒川緑道利用状況（休日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
池尻大橋駅 へ	緑道 (歩行者)	57	67	103	227
	自転車道 (自転車)	19	38	14	71
池尻大橋駅 から	緑道 (歩行者)	35	38	95	168
	自転車道 (自転車)	6	19	6	31
	休憩利用	3	6	0	9
合計		120	168	218	506

②平日の利用状況

平日の歩行者利用は、「朝」は、池尻大橋駅から来る歩行者が最も多く、自転車は池尻大橋駅へ向う利用者が最も多かった。

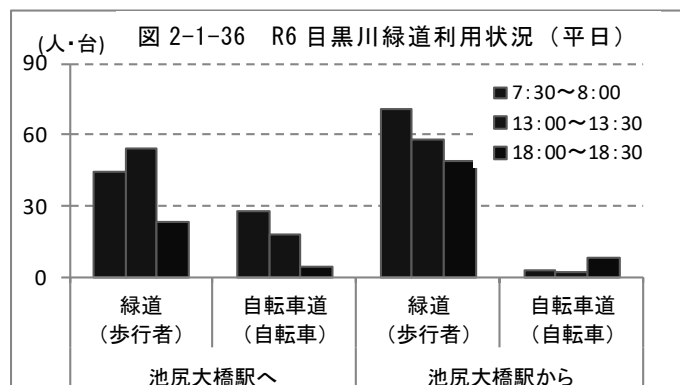


表 2-1-35 R6 目黒川緑道利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
池尻大橋駅 へ	緑道 (歩行者)	44	54	23	121
	自転車道 (自転車)	28	18	4	50
池尻大橋駅 から	緑道 (歩行者)	71	58	49	178
	自転車道 (自転車)	3	2	8	13
	休憩利用	0	1	0	1
合計		146	133	84	363

表 2-1-36 H26 目黒川緑道利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
池尻大橋駅 へ	緑道 (歩行者)	82	31	32	145
	自転車道 (自転車)	43	26	21	90
池尻大橋駅 から	緑道 (歩行者)	48	28	35	111
	自転車道 (自転車)	1	6	12	19
	休憩利用	0	7	3	10
合計		174	98	103	375

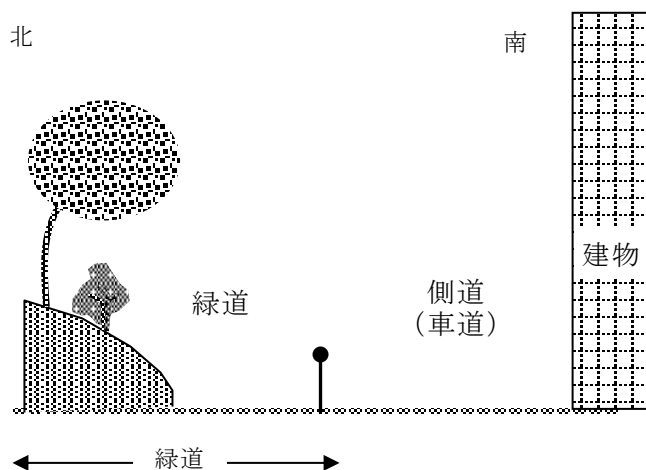
2) 蛇崩川緑道

蛇崩川緑道は、中目黒駅への通勤・通学ルートになっており、朝夕の通行は多くなっている。緑道は、道路をガードレールで仕切った形態の歩行部分と斜面を利用した緑地部分が平行して並ぶ形態となっている。

道路部分には歩道がなく、車の通行量も比較的多いため、緑道は歩行者にとって安全で、歩きやすい環境となっている。



蛇崩川緑道—中目黒方面



①休日の利用状況

休日の利用は、中目黒駅方向への「昼」の利用が最も多い。

自転車の利用は、いずれの時間帯も利用はみならなかった。

前回調査でも、歩行者利用は「昼」が最も多くなっている。自転車は、前回調査も「昼」と「夕方」に見られるが今回は観察されていない。今回は、合計数で「朝」、「夕方」で減少している。

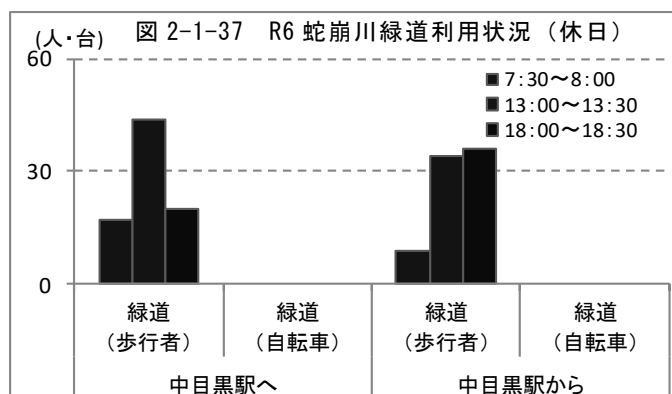


表 2-1-37 R6 蛇崩川緑道利用状況（休日）

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
中目黒駅へ	緑道（歩行者）	17	44	20	81
	緑道（自転車）	0	0	0	0
中目黒駅から	緑道（歩行者）	9	34	36	79
	緑道（自転車）	0	0	0	0
	休憩利用	0	0	0	0
合計		26	78	56	160

表 2-1-38 H26 蛇崩川緑道利用状況（休日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
中目黒駅へ	緑道 (歩行者)	22	94	51	167
	緑道 (自転車)	0	3	1	4
中目黒駅から	緑道 (歩行者)	7	28	63	98
	緑道 (自転車)	0	3	1	4
	休憩利用	0	3	1	4
合計		29	131	117	277

②平日の利用状況

平日は、中目黒駅方向に向かう「朝」の利用が最も多くなっている。これは、通勤・通学時の利用と考えられる。

最も利用されている時間は、「朝」であり、前回調査と変化はない。また、利用者の総数は、減少傾向で特に夕方は減少が大きい。

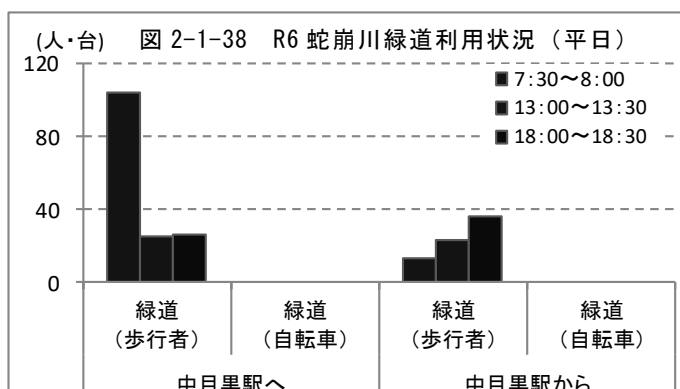


表 2-1-39 R6 蛇崩川緑道利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
中目黒駅へ	緑道 (歩行者)	104	25	26	155
	緑道 (自転車)	0	0	0	0
中目黒駅から	緑道 (歩行者)	13	23	36	72
	緑道 (自転車)	0	0	0	0
	休憩利用	1	2	0	3
合計		118	50	62	230

表 2-1-40 H26 蛇崩川緑道利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
中目黒駅へ	緑道 (歩行者)	156	36	48	240
	緑道 (自転車)	0	3	2	5
中目黒駅から	緑道 (歩行者)	15	22	60	97
	緑道 (自転車)	1	1	1	3
	休憩利用	1	2	0	3
合計		173	64	111	348

3) 立会川緑道（向原おもだか児童遊園前）

立会川緑道は、西小山駅近くから碑文谷八幡等を結ぶルート上で調査を行った。この緑道は両側に側道があり、緑道部分は側道より地盤が高くなっている。緑道内には高木が植栽されているため、ジグザグに歩く形態の歩道となっている。



立会川緑道—西小山方面

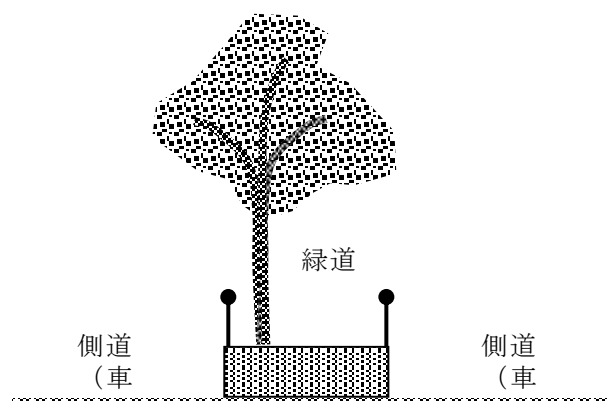


図 2-1-39 立会川緑道断面

① 休日の利用状況

休日では、歩行者の利用する緑道と側道の割合は、いずれも側道の割合が高く、「朝」84%、「昼」73%、「夕方」82%となっている。

前回調査と比較すると、前回の側道利用率が、いずれも 50%以下で、「昼」は特に低く 30%以下となっている。

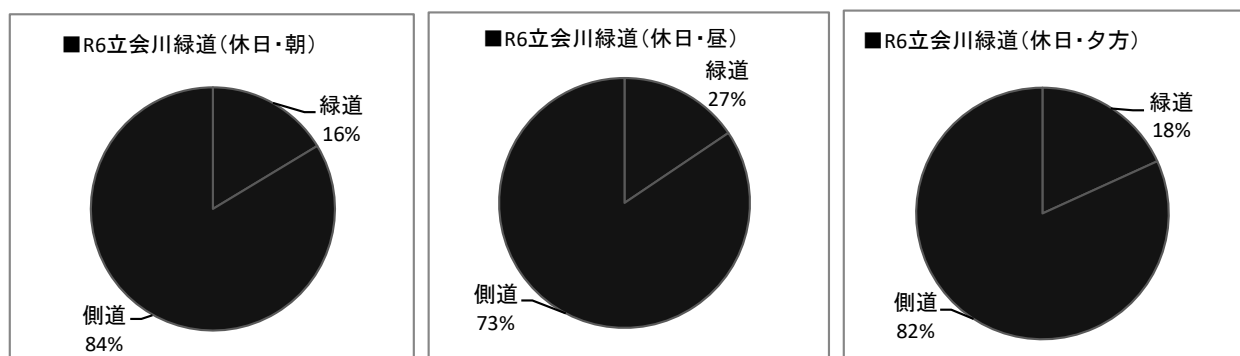


図 2-1-40 R6 立会川緑道利用状況（休日）

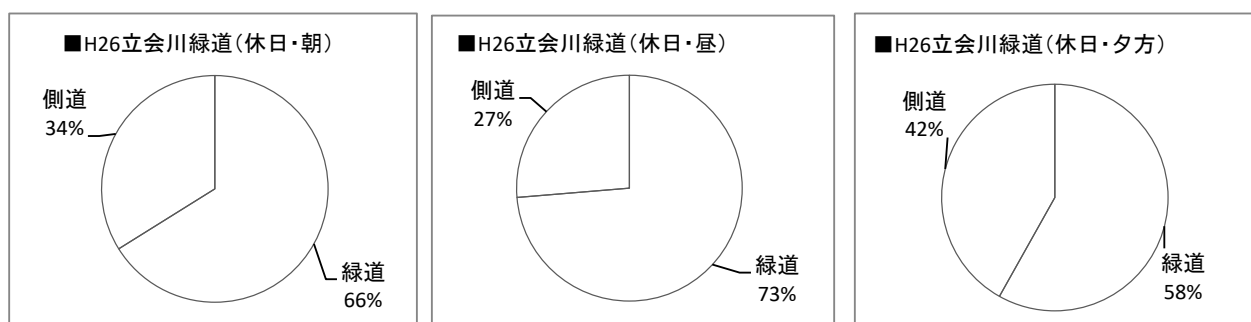


図 2-1-41 H26 立会川緑道利用状況（休日）

表 2-1-41 R6 立会川緑道（向原おもだか児童遊園前）利用状況（休日）

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
西小山駅へ	緑道 (歩行者)	6	8	5	19
	側道 (歩行者)	24	51	25	100
西小山駅から	緑道 (歩行者)	2	8	5	15
	側道 (歩行者)	17	36	20	73
	休憩利用	0	0	0	0
合計		49	103	55	207

表 2-1-42 H26 立会川緑道（向原おもだか児童遊園前）利用状況（休日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
西小山駅へ	緑道 (歩行者)	28	8	13	49
	側道 (歩行者)	16	3	8	27
西小山駅から	緑道 (歩行者)	13	6	12	31
	側道 (歩行者)	5	2	10	17
	休憩利用	0	0	0	0
合計		62	19	43	124

②平日の利用状況

平日でも、緑道の利用率は全ての時間で50%を超えているが、特に「夕方」で利用率が高くなっている。休日と比較すると、休日よりいずれも利用率は高くなっている。

前回調査との比較では、緑道の利用率が「昼」は、ほぼ同じ割合であるが、「朝」と「夕方」は今回の緑道利用率の方が高くなっている。

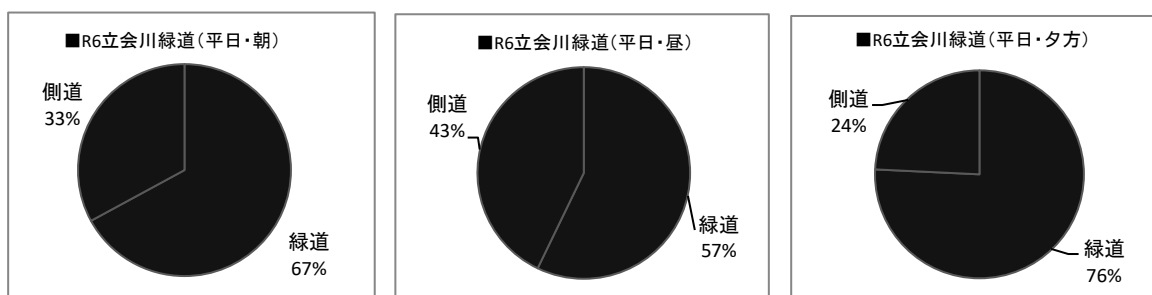


図 2-1-42 R6 立会川緑道利用状況（平日）

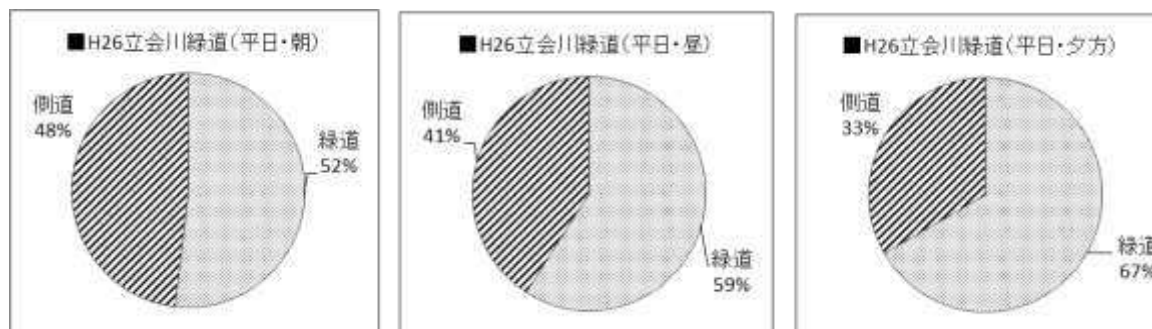


図 2-1-43 H26 立会川緑道利用状況（平日）

表 2-1-43 R6 立会川緑道（向原おもだか児童遊園前）利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
西小山駅へ	緑道 (歩行者)	41	3	16	60
	側道 (歩行者)	17	5	10	32
西小山駅から	緑道 (歩行者)	16	9	34	59
	側道 (歩行者)	11	4	6	21
	休憩利用	2	2	0	4
合計		87	23	66	176

表 2-1-44 H26 立会川緑道（向原おもだか児童遊園前）利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
西小山駅へ	緑道 (歩行者)	13	8	28	49
	側道 (歩行者)	7	7	15	29
西小山駅から	緑道 (歩行者)	1	5	14	20
	側道 (歩行者)	6	2	6	14
	休憩利用	0	0	0	0
合計		27	22	63	112

4) 呑川緑道（目黒通り北側）

都立大学駅から目黒通りを渡った部分の呑川本流緑道の通行状況を調査対象地点とした。



呑川緑道—目黒通り北側

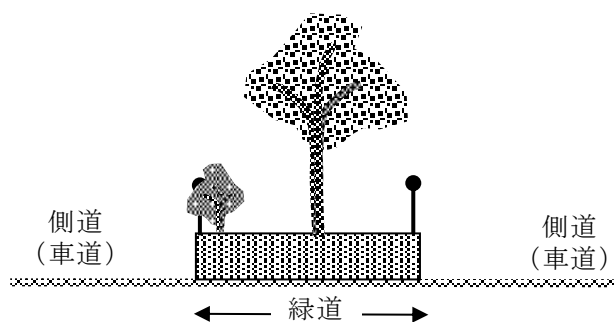


図 2-1-44 呑川緑道断面

①休日の利用状況

緑道の利用率は、「朝」、「昼」が16～17%でほぼ同じであるが、「夕方」は6%と低い。
 前回調査と比較すると、各時間帯とも減少している。

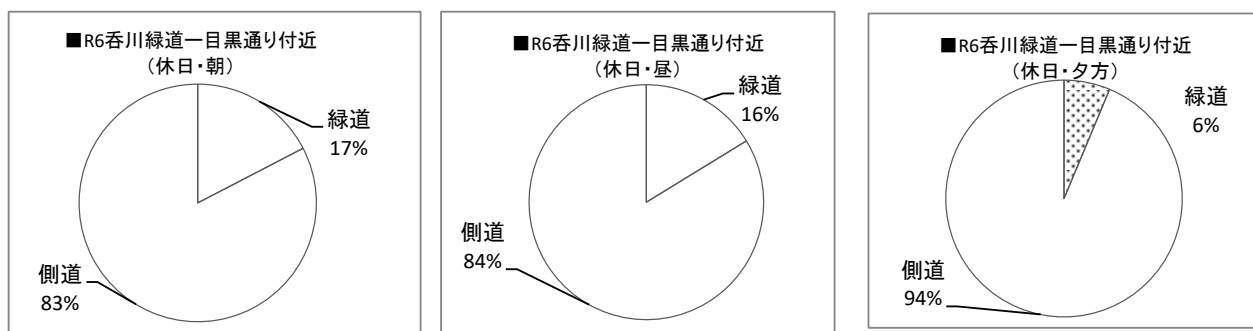


図 2-1-45 R6 呑川緑道（目黒通り北側）利用状況（休日）

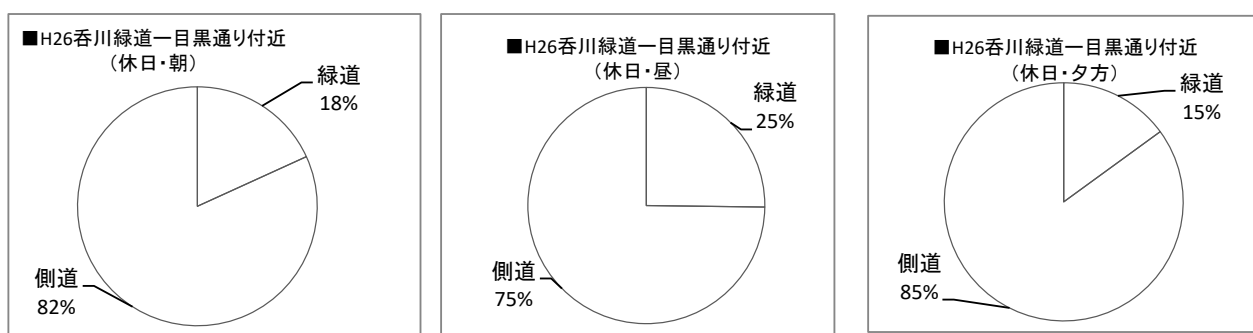


図 2-1-46 H26 呑川緑道（目黒通り北側）利用状況（休日）

表 2-1-45 R6 呑川緑道（目黒通り北側）利用状況（休日）

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
都立大前駅 へ	緑道 (歩行者)	8	12	3	23
	側道 (歩行者)	44	63	44	151
都立大前駅 から	緑道 (歩行者)	8	8	4	20
	側道 (歩行者)	32	40	60	132
	休憩利用	0	0	0	0
合計		92	123	111	326

表 2-1-46 H26 呑川緑道（目黒通り北側）利用状況（休日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
都立大前駅 へ	緑道 (歩行者)	4	13	12	29
	側道 (歩行者)	31	65	63	159
都立大前駅 から	緑道 (歩行者)	8	18	10	36
	側道 (歩行者)	23	27	62	112
	休憩利用	1	0	0	1
合計		67	123	147	337

②平日の利用状況

時間帯によって、緑道の利用率に大きな差が出ているが、前回との比較では、全ての時間帯で低くなっている。

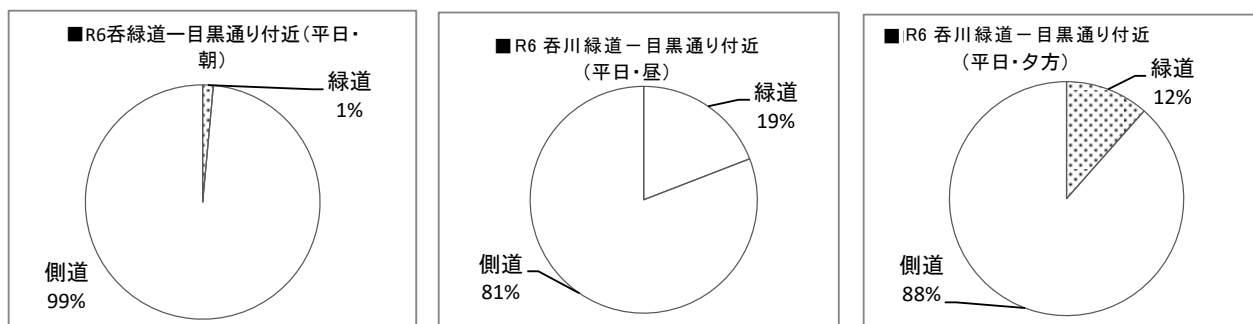


図 2-1-47 R6 呑川緑道（目黒通り北側）利用状況（平日）

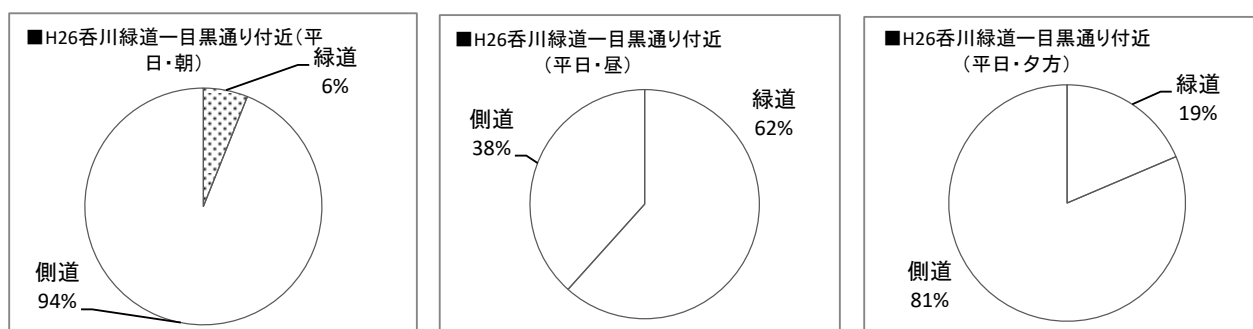


図 2-1-48 H26 呑川緑道（目黒通り北側）利用状況（平日）

表 2-1-47 R6 呑川緑道（目黒通り北側）利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
都立大前駅 へ	緑道 (歩行者)	5	7	3	15
	側道 (歩行者)	107	27	65	199
都立大前駅 から	緑道 (歩行者)	3	6	10	19
	側道 (歩行者)	433	28	35	496
	休憩利用	0	0	0	0
合計		548	68	113	729

表 2-1-48 H26 呑川緑道（目黒通り北側）利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30~8:00	13:00~13:30	18:00~18:30	
都立大前駅 へ	緑道 (歩行者)	22	28	5	55
	側道 (歩行者)	172	17	49	238
都立大前駅 から	緑道 (歩行者)	0	17	16	33
	側道 (歩行者)	169	11	43	223
	休憩利用	0	0	0	0
合計		363	73	113	549

5) 呑川緑道（十一中前）

呑川沿いの住宅地と、緑が丘駅を繋ぐ役割を担っている。調査対象地点付近は、歩道の幅員が広く、車道からの段差が無いため、中根小学校前後の北側に続く部分とは異なり、利用しやすい緑道となっている。また、緑道内に自転車走行レーンが設置されており、歩行者と自転車の動線が分離されているため、ジョギングやサイクリング利用にも適した構造となっている。



呑川緑道—十一中東側

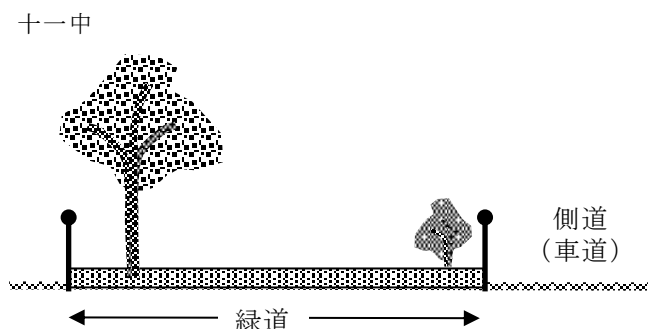


図 2-1-49 呑川緑道（十一中付近）断面

① 休日の利用状況

緑道の利用率は、「朝」と「昼」は、約 30%前後であり、低い「夕方」でも、25%となっており、立会川緑道をのぞく他の緑道と比較しても、利用率が最も高くなっている。

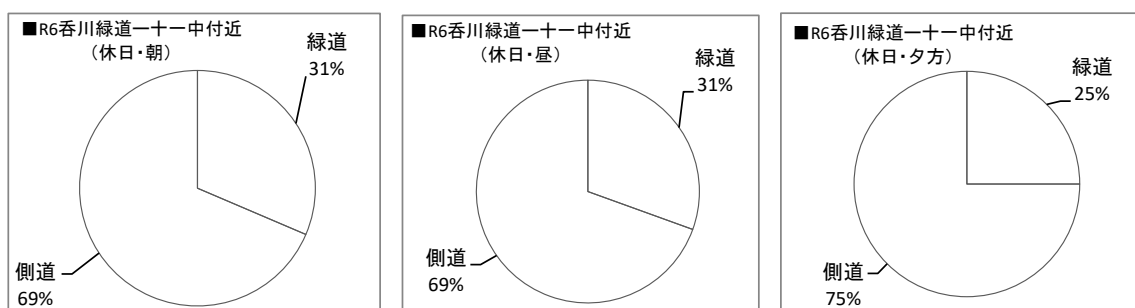


図 2-1-50 R6 呑川緑道（十一中前）利用状況（休日）

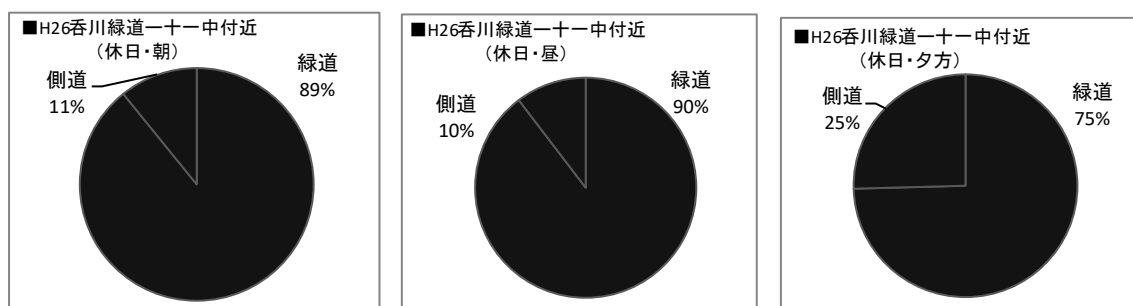


図 2-1-51 H26 呑川緑道（十一中前）利用状況（休日）

表 2-1-49 R6 呑川緑道（十一中前）利用状況（休日）

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
緑が丘駅へ	緑道 (歩行者)	31	22	19	72
	側道 (歩行者)	69	33	36	138
緑が丘駅から	緑道 (歩行者)	13	7	5	25
	側道 (歩行者)	27	33	36	96
	休憩利用	0	0	0	0
合計		140	95	96	331

表 2-1-50 H26 呑川緑道（十一中前）利用状況（休日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
緑が丘駅へ	緑道 (歩行者)	20	37	21	78
	側道 (歩行者)	2	4	9	15
緑が丘駅から	緑道 (歩行者)	13	15	23	51
	側道 (歩行者)	2	2	6	10
	休憩利用	0	6	0	6
合計		37	64	59	160

②平日の利用状況

平日は、「朝」、「昼」は、およそ 20%～30%の利用率であるが、「夕方」は 40%であり、利用率が高くなっている。

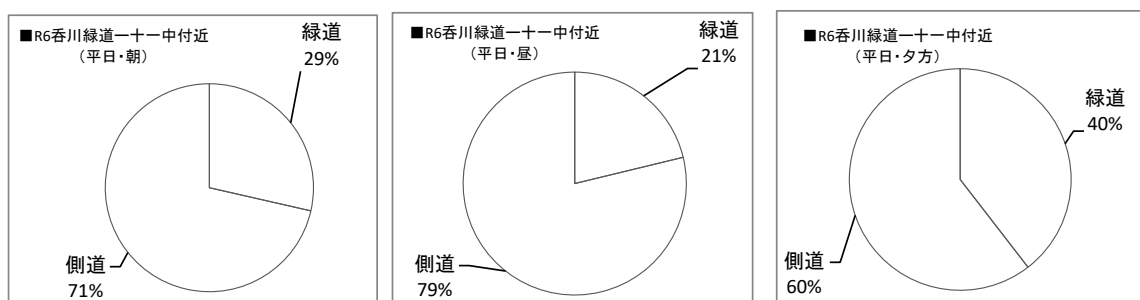


図 2-1-52 R6 呑川緑道（十一中前）利用状況（平日）

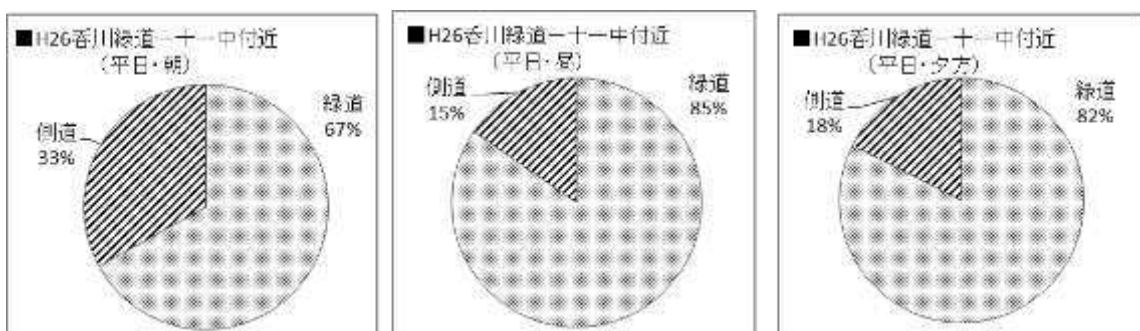


図 2-1-53 H26 呑川緑道（十一中前）利用状況（平日）

表 2-1-51 R6 呑川緑道（十一中前）利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
緑が丘駅へ	緑道 (歩行者)	13	4	9	26
	側道 (歩行者)	36	12	12	60
緑が丘駅から	緑道 (歩行者)	11	3	8	22
	側道 (歩行者)	24	14	14	52
	休憩利用	0	0	0	0
合計		84	33	43	160

表 2-1-52 H26 呑川緑道（十一中前）利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
緑が丘駅へ	緑道 (歩行者)	15	20	45	80
	側道 (歩行者)	3	4	8	15
緑が丘駅から	緑道 (歩行者)	48	11	35	94
	側道 (歩行者)	28	2	9	39
	休憩利用	0	0	0	0
合計		94	37	97	228

6) 九品仏川緑道

九品仏川緑道は、調査対象の緑道の中で比較的低利用率の緑道である。これは、形状が呑川緑道の目黒通り付近に類似しており、緑道内が狭いこと、側道の交通量が少ないことが大きな要因と考えられる。



九品仏川緑道—自由が丘駅方向

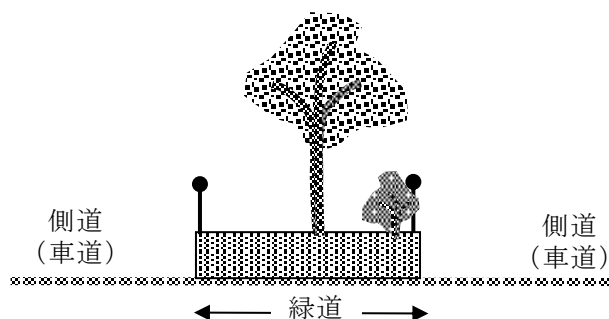


図 2-1-54 九品仏川緑道利用状況断面

① 休日の利用状況

緑道の利用率は、7～26%となっているが、前回との比較では「朝」「夕方」が高く、「昼」は低くなっている。

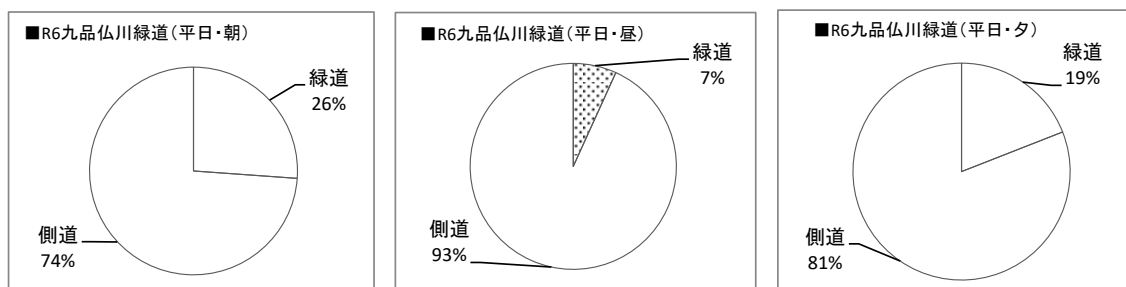


図 2-1-55 R6 九品仏川緑道利用状況 (休日)

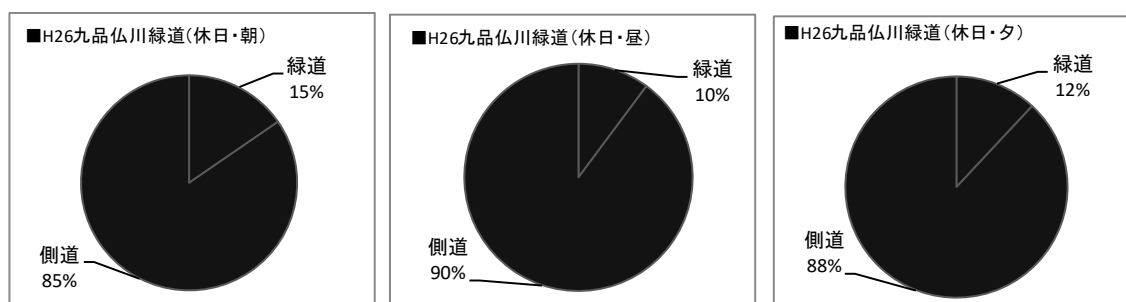


図 2-1-56 H26 九品仏川緑道利用状況 (休日)

表 2-1-53 R6 九品仏川緑道利用状況（休日）

方向	休日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
自由が丘駅 へ	緑道 (歩行者)	6	15	6	27
	側道 (歩行者)	16	66	50	132
自由が丘駅 から	緑道 (歩行者)	4	13	9	26
	側道 (歩行者)	5	84	32	121
	休憩利用	0	2	0	2
合計		31	180	97	308

表 2-1-54 H26 九品仏川緑道利用状況（休日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
自由が丘駅 へ	緑道 (歩行者)	3	9	8	20
	側道 (歩行者)	13	65	44	122
自由が丘駅 から	緑道 (歩行者)	3	4	5	12
	側道 (歩行者)	20	50	52	122
	休憩利用	0	2	4	6
合計		39	130	113	282

② 平日の利用状況

平日は、いずれの時間帯も緑道が 30% 以下の利用率となっている。前回と比較すると「昼」は変化はないが、「朝」「夕方」では利用率は高くなっている。

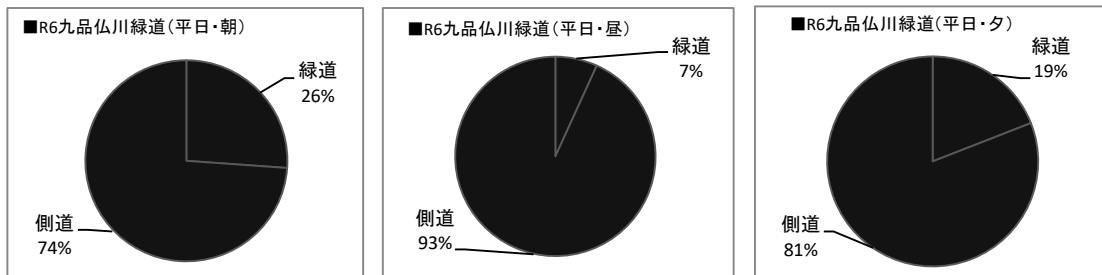


図 2-1-57 R6 九品仏川緑道利用状況（平日）

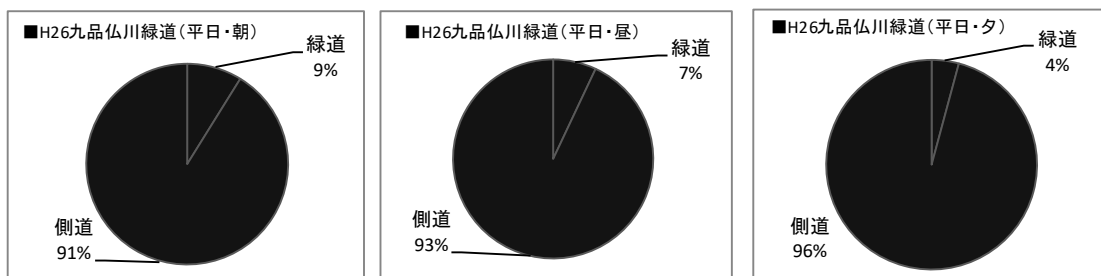


図 2-1-58 H26 九品仏川緑道利用状況（平日）

表 2-1-55 R6 九品仏川緑道利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
自由が丘駅 へ	緑道 (歩行者)	8	3	3	14
	側道 (歩行者)	28	23	10	61
自由が丘駅 から	緑道 (歩行者)	15	1	5	21
	側道 (歩行者)	37	32	24	93
	休憩利用	1	0	0	1
合計		89	59	42	190

表 2-1-56 H26 九品仏川緑道利用状況（平日）

方向	平日	朝	昼	夕方	合計
		7:30～8:00	13:00～13:30	18:00～18:30	
自由が丘駅 へ	緑道 (歩行者)	2	3	0	5
	側道 (歩行者)	18	18	13	49
自由が丘駅 から	緑道 (歩行者)	1	0	1	2
	側道 (歩行者)	13	22	10	45
	休憩利用	1	0	0	1
合計		35	43	24	102

(5) 人流ビッグデータ分析調査

1) 公園別分析結果

区担当者との協議を踏まえ決定した主たる公園 20 箇所について、個別に訪問回数等を集計した。集計結果は以下に示すとおりである。

①訪問回数

1 日あたりの訪問回数（平均値）は、碑文谷公園が最も多く、次いで中根公園、中目黒公園の訪問者が多かった。

碑文谷公園は、現地調査でも他の公園と比べて利用者が多く妥当な結果が得られていると考える。なお、現地調査で利用者の多かった清水池公園や衾町公園、東山公園は、幼児、小学生、高齢者の利用も多く、携帯端末の位置情報に基づく人流ビッグデータの特性が現れたものとする。

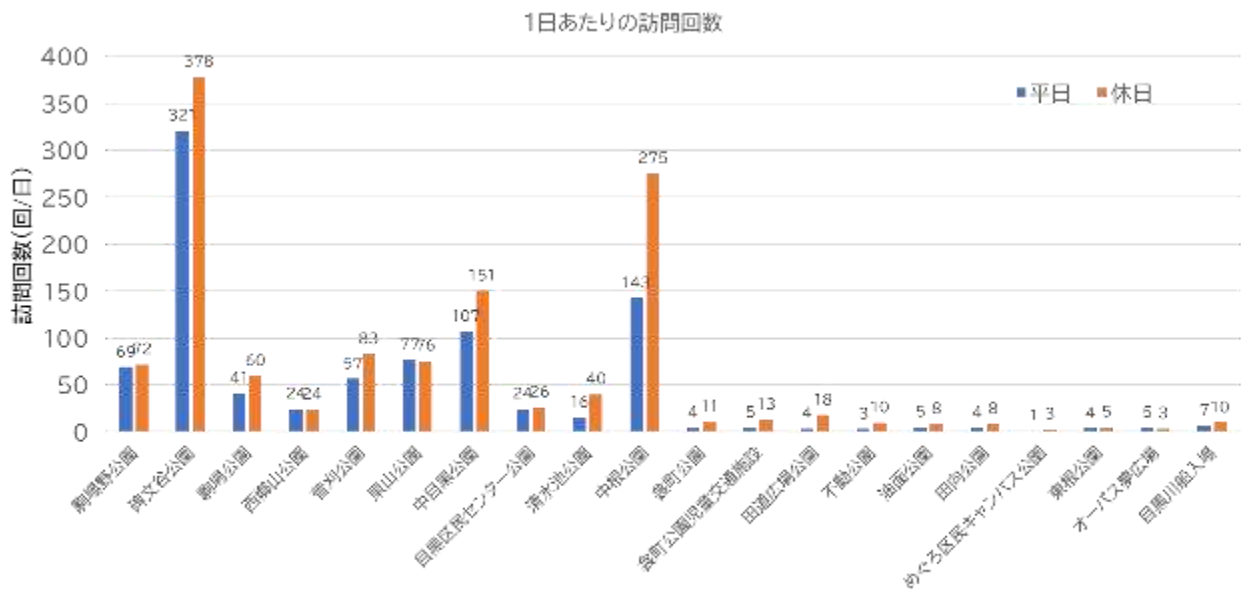


図 2-1-59 1 日あたりの訪問回数

②性年代別利用者割合

駒場野公園や東山公園、中根公園では50代以上の女性の利用が多い一方で、西郷山公園や菅刈公園、目黒区民センター公園、衾町公園、衾町公園児童交通施設、めぐろ区民キャンパス公園等では男性の利用が多い。このように、公園によって利用する性年代が変わっており、公園の特性に応じて主な利用者層が変わっていることが伺える。

また、碑文谷公園や駒場公園、中根公園では平日・休日で利用者の性年代の変化が比較的小さい一方で、田道広場公園や油面公園、東根公園では性年代の変化が比較的大きい。これらは周辺に居住する区民の利用特性や、大学等の施設の立地、公園内のスポーツ施設等の様々な要因で利用の実態が変化しているものと考えられる。

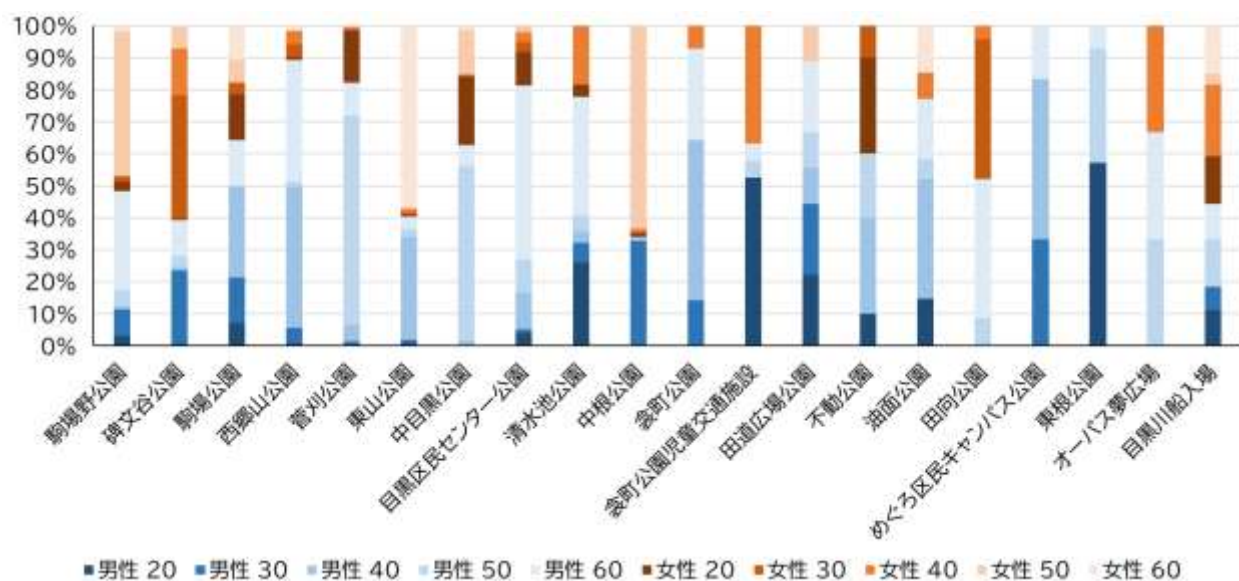


図 2-1-60 性年代別利用者割合（平日）

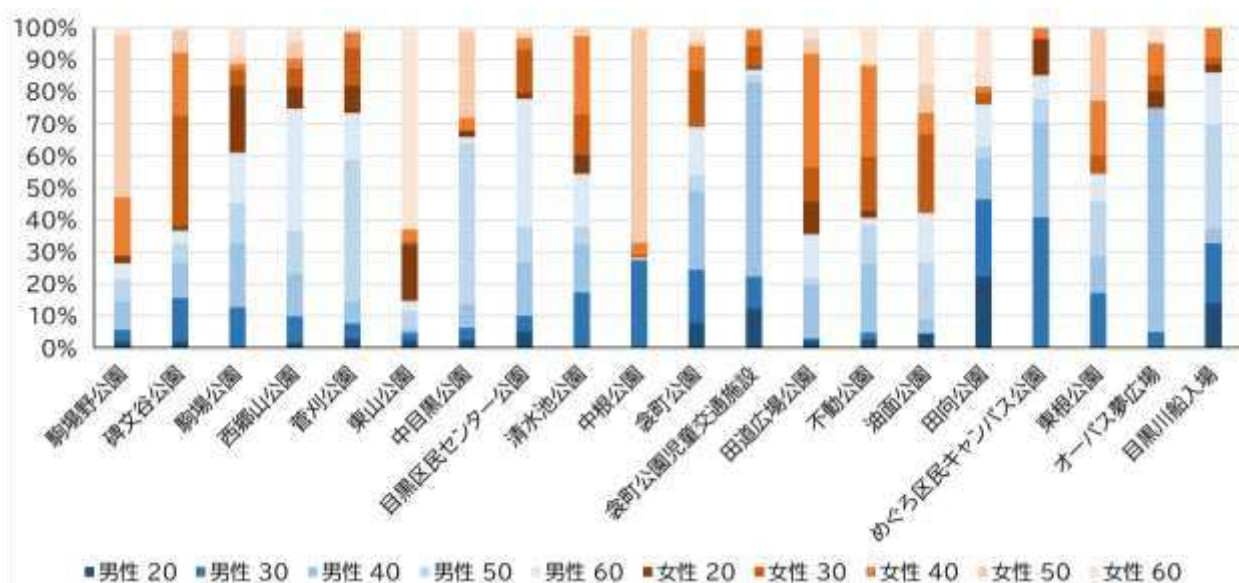


図 2-1-61 性年代別利用者割合（休日）

③居住地・勤務地別利用者割合

碑文谷公園や菅刈公園、中根公園等は平日・休日に関わらず区民の利用が多く、駒場野公園や駒場公園、西郷山公園、東山公園等の区境に立地する公園では平日・休日に関わらず区外居住者の利用が多い。中目黒公園や目黒区民センター公園等では休日に区外居住者の利用が増加しており、目黒川沿いを散策する来訪者の利用等が要因と考えられる。

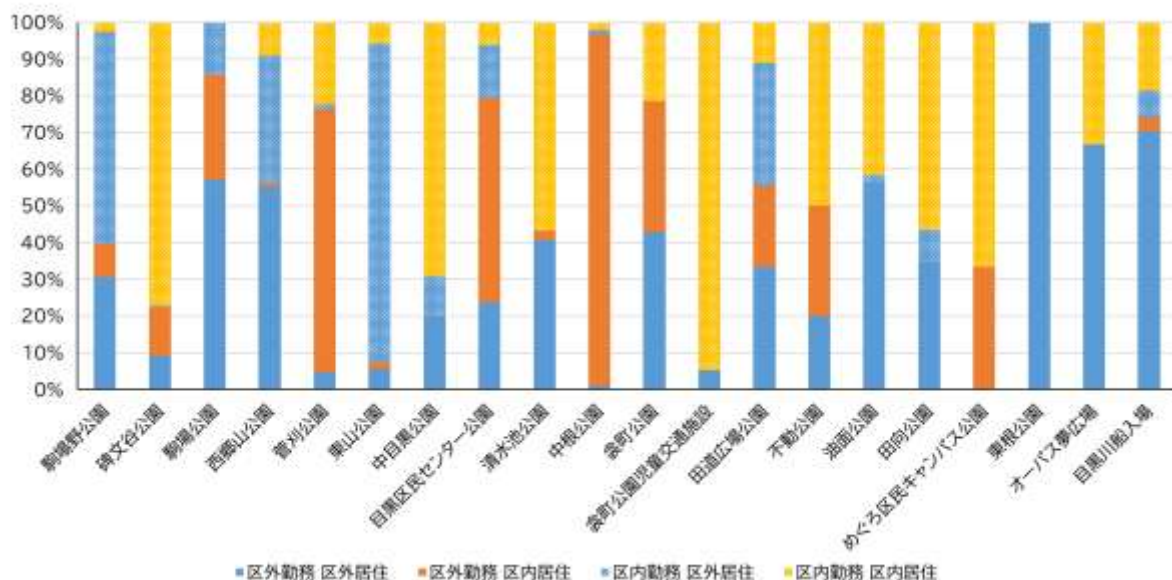


図 2-1-62 居住地・勤務地別利用者割合（平日）

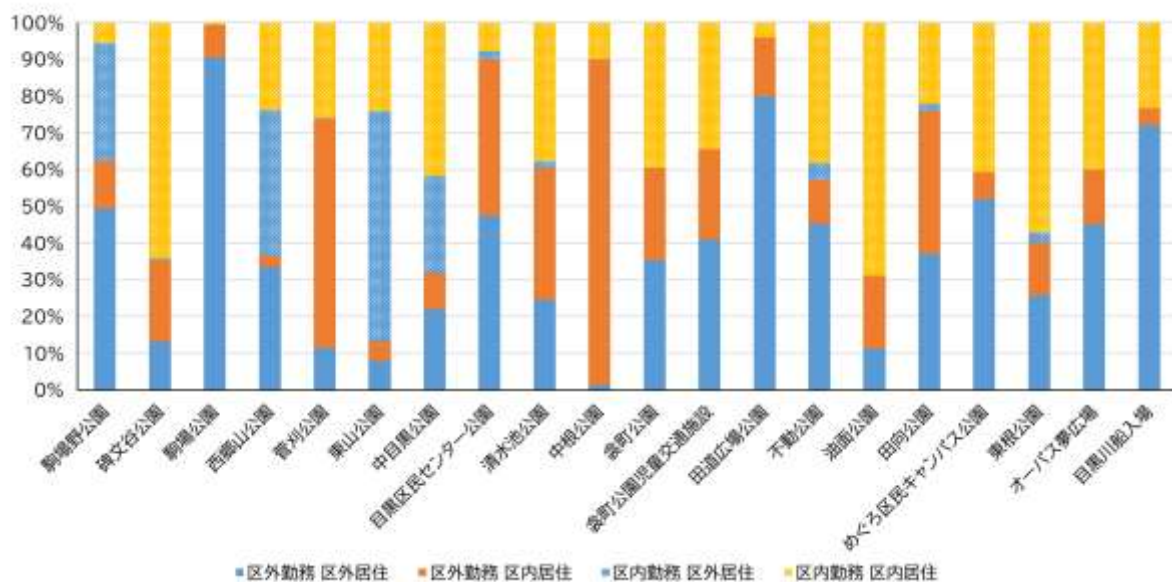


図 2-1-63 居住地・勤務地別利用者割合（休日）

④ 1日あたり平均滞在時間

1日あたり平均滞在時間は、平日・休日ともに中根公園が最も長く、次いで、菅刈公園、中目黒公園、碑文谷公園の滞在時間が長い傾向にある。中根公園では斜面林の傾斜を活用した特徴ある滑り台や木製アスレチック遊具など、地域の子供にとって魅力的な公園となっていると考えられる。

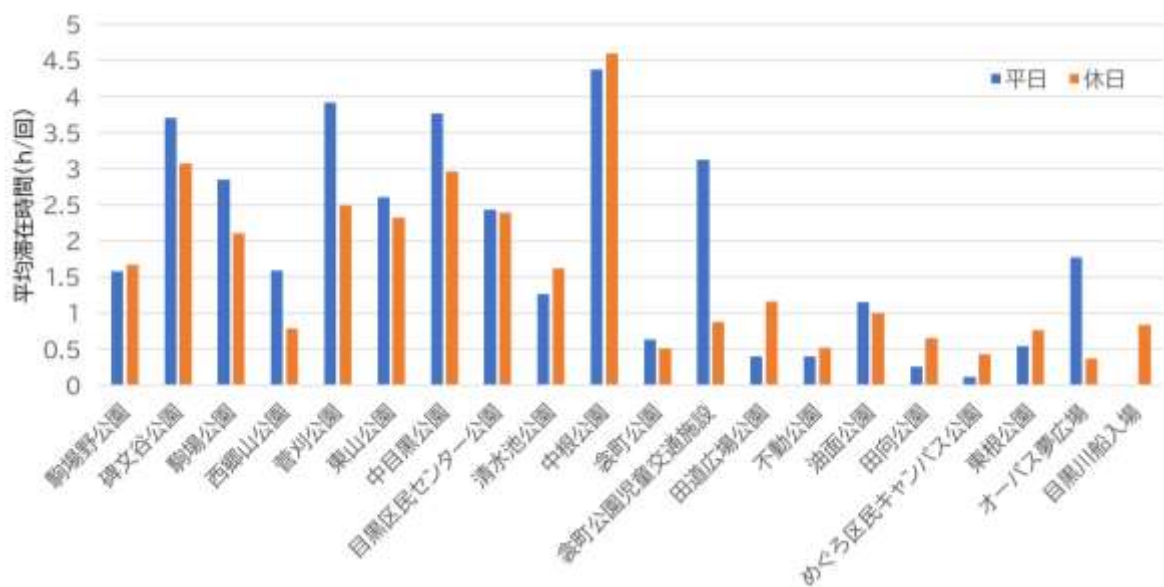


図 2-1-64 1日あたり平均滞在時間

2) 区分別分析結果

公園等を「区立公園」、「児童遊園」、「ふれあい広場」、「遊び場等」、「緑道」で区分し、各公園等の平均値により利用特性の変化を分析した。

① 訪問回数

緑道の訪問回数が最も多く、通行のための利用者が多いことが要因として考えられる。

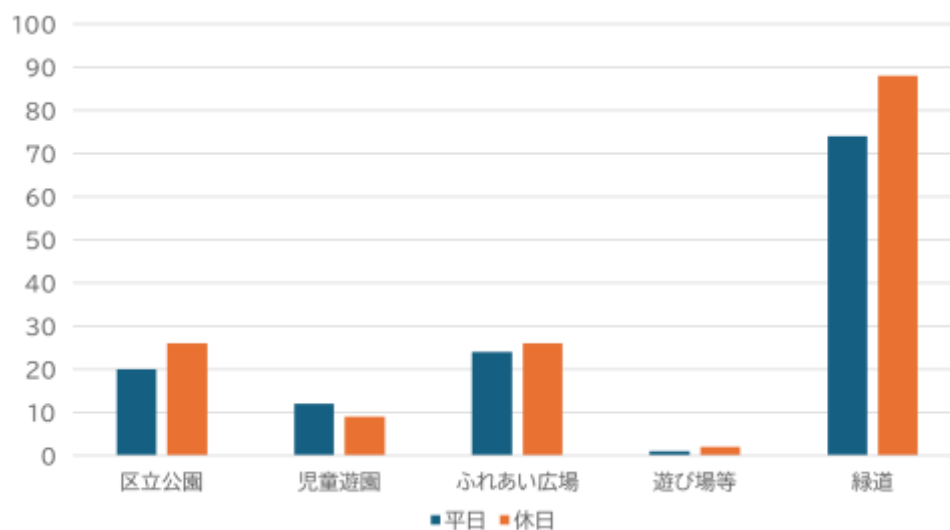


図 2-1-65 1日あたりの訪問回数（区分別）

②性年代別利用者割合

児童遊園では休日は20～30代男性の利用が多く、平日は30代女性の利用が多くなっており、子育て世帯における利用者の変化の様子がうかがえる。なお、ふれあい広場では平日・休日ともに60代女性の利用が多い。

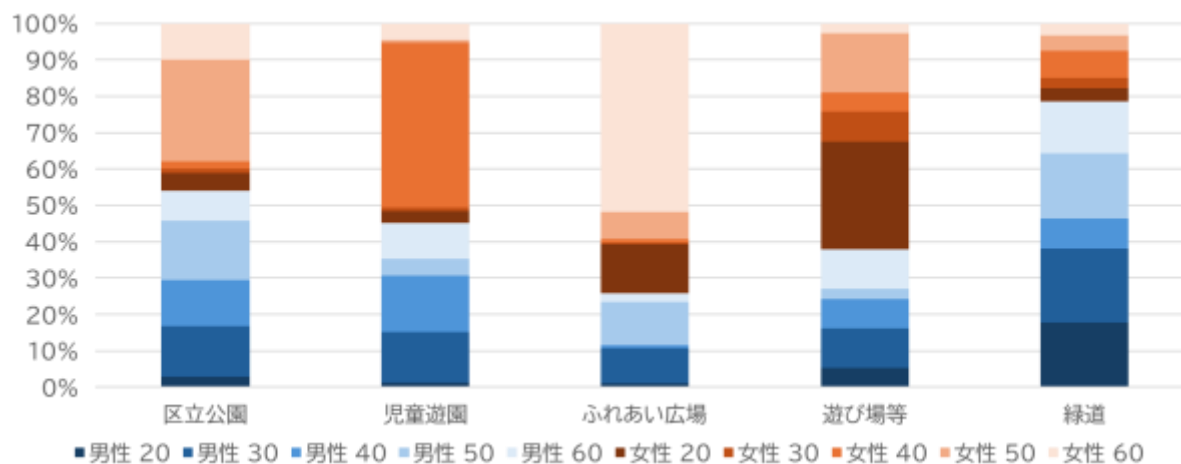


図 2-1-66 性年代別利用者割合（平日、区分別）

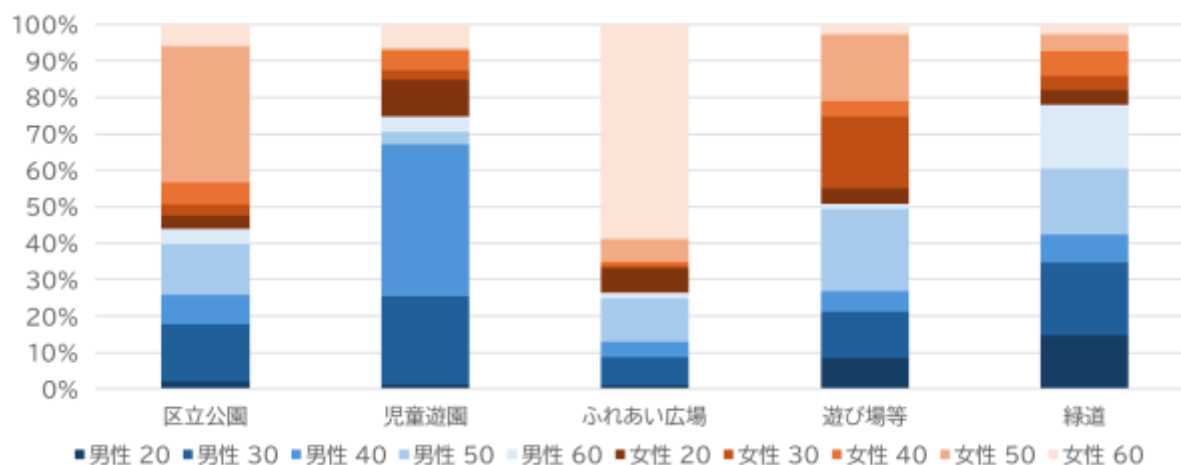


図 2-1-67 性年代別利用者割合（休日、区分別）

③居住地・勤務地別利用者割合

区立公園は平日・休日ともに区民の利用が多い一方で、児童遊園やふれあい広場等の比較的規模の小さい公園では、平日の区外居住者の利用が多い傾向にある。これらの比公園では勤務時の移動のための通行や休憩場所等として利用されているものと考えられる。

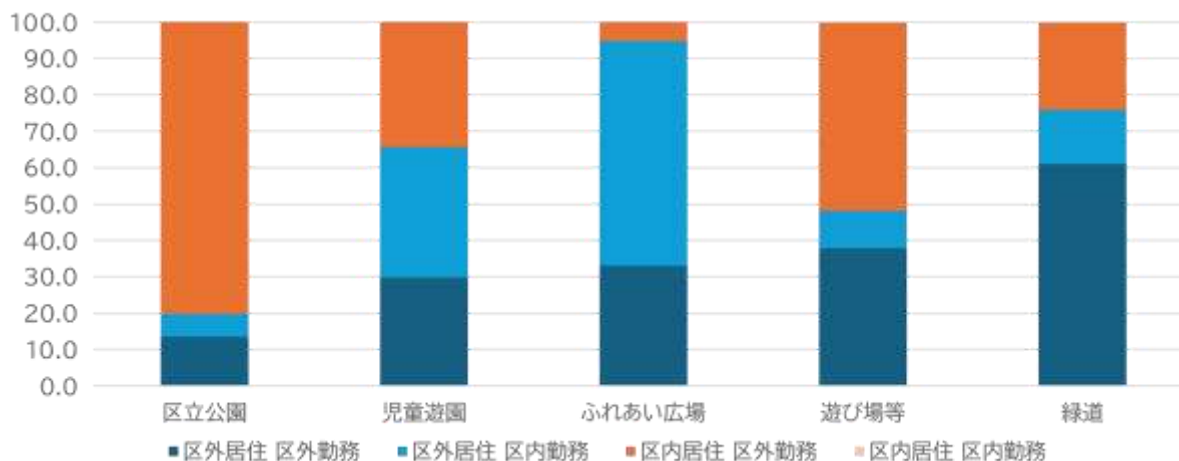


図 2-1-68 居住地・勤務地別利用者割合（平日、区分別）

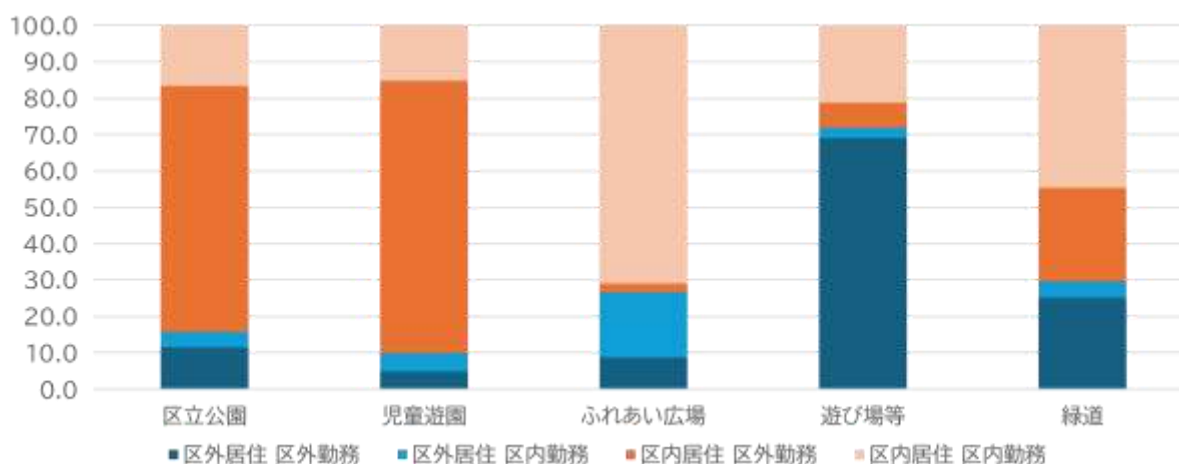


図 2-1-69 居住地・勤務地別利用者割合（休日、区分別）

④ 1日あたり平均滞在時間

多くの公園等で2～3時間の平均滞在時間であり、遊び場等は他と比べて滞在時間が短い傾向にある。これは、防災ひろば等の人の利用が少ない施設が含まれることが要因と考えられる。

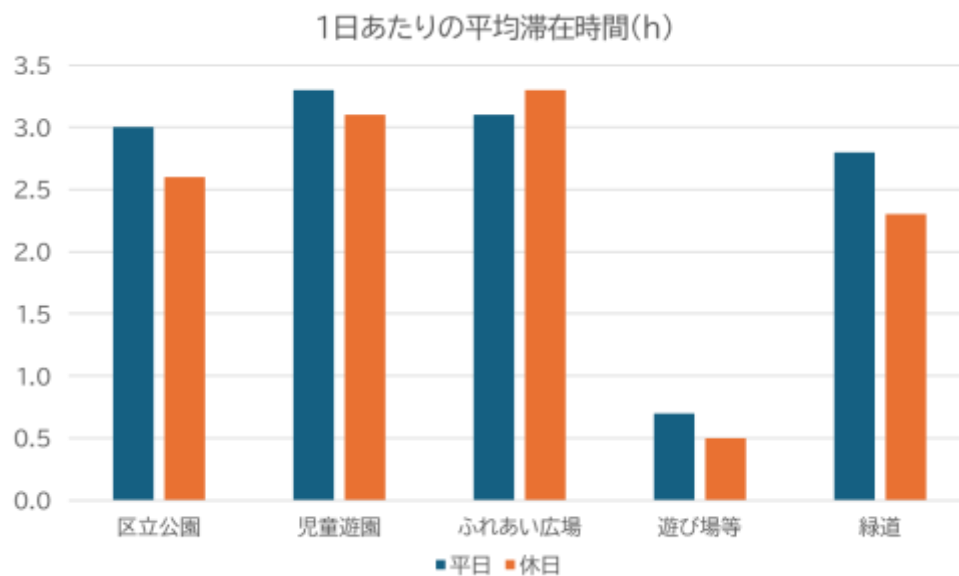


図 2-1-70 1日あたり平均滞在時間（区分別）